

2022年度 シラバス(授業内容)

夜間部2年

1.シラバスとは

シラバスは、授業の内容を予め受講者に知らせるもので、到達目標・使用教材・単位数等が記載されています。当校の教育理念は「ホスピタリティマインド豊かな社会人の育成」です。ホスピタリティとはお客様をおもてなしすること、心配り・気配り・思いやりを意味します。相手の立場に立って考え、行動できる人間を育成することを念頭にカリキュラム編成をしています。同時に卒業後、即戦力として活躍できるよう専門分野においても基礎・応用からの実践教育を取り入れたカリキュラムとなっています。

2.科目編成(カリキュラム)の概要

科目編成は、共通一般科目・専門科目・選択科目です。

- (1) 共通一般科目: 人間力を高めること、職業人として必要なビジネス教養を身に付ける科目構成です。
- (2) 専門科目: 各科各コースの専門分野に即した科目構成です。
- (3) 選択科目: 語学／一般(検定対策)それぞれ選択します。



学校法人 中村学園

国際トラベル・ホテル・ブライダル専門学校

2022年度 夜間部2年 エアライン科

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通必修	8	10	4	4	26
	専門必修	8	8	11	11	38
	企業実習	-	4	-	4	8
合計		16	22	15	19	72

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期											
	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間								
夜間部 共通一般 科目	ホスピタリティ I	講	1	15	ホスピタリティ II	講	1	15	接客手話 I	演	1	15	接客手話 II	演	1	15								
	自己理解 I	講	1	15	自己理解 II	講	1	15					ユニバーサルサービス	講	1	15								
	パソコン I	講・演	1	15	パソコン II	講・演	1	15	パソコン III	講・演	1	15	パソコン IV	講・演	1	15								
	Let's Speak English I	講・演	1	15	Let's Speak English II	講・演	1	15																
	キャリアデザイン I	講・演	1	15	キャリアデザイン II	講・演	3	45	キャリアデザイン III	講・演	1	15												
	バリアフリー	演	1	15	就職筆記対策	講・演	1	15																
	コミュニケーション I	講・演	1	15	コミュニケーション II	講	1	15	コミュニケーション III	講・演	1	15	コミュニケーション IV	講・演	1	15								
	観光業界研究 I	講・演	1	15	観光業界研究 II	講・演	1	15																
小計				8	120	小計				10	150	小計				4	60	小計				4	60	
専門科目	空港旅客サービス入門	講	1	15	空港旅客サービス実務 I	講・演	1	15	空港旅客サービス実務 II	講・演	1	15	アナウンス演習	演	1	15								
	エアカーゴ業務 I	講	1	15	エアカーゴ業務 II	講	1	15	エアカーゴ業務 III	講	1	15	社会人準備講座	講・演	1	15								
	中国語 I	講・演	1	15	中国語 II	講・演	1	15	中国語 III	講・演	1	15	中国語 IV	講・演	1	15								
	アマデウス I	演	1	15	アマデウス II	演	1	15	海外旅行実務地理 I	講	1	15	海外旅行実務地理 II	講	1	15								
	Airline English I	講・演	1	15	Airline English II	講・演	1	15	Airline English III	講・演	1	15	海外ツアープランニング実務	講・演	2	30								
	業界ガイド	講	1	15	English Communication I	演	1	15	English Communication II	演	1	15	English Communication III	演	1	15								
									ワールドエアチケット	講	1	15	危機管理	演	1	15								
									エアカーゴ総論	講	1	15	ソムリエ講座	講	1	15								
									空港約款ベーシック	講	1	15												
語学 選択 科目	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15								
	韓国語 I				韓国語 II				韓国語 I				韓国語 II											
*中国語・韓国語は通年での選択								*中国語・韓国語は通年での選択																
一般 選択 科目	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15								
	漢字検定対策				漢字検定対策				漢字検定対策				漢字検定対策											
実習	企業実習						実	4	120	企業実習						実	4	120						
小計				8	120	小計				12	240	小計				11	165	小計				15	285	
合計	1年前期合計				16	240	1年後期合計				22	390	2年前期合計				15	225	2年後期合計				19	345
	1年計								38	630	2年計								34	570				
	2年間 合計																72	1200						

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
行事	オリエンテーション合宿 スタートアップセミナー スポーツ大会	中村学園祭 就職ガイダンス	スポーツ大会	中村学園祭

2022年度 夜間部2年 デュアル科エアラインコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通必修	8	10	4	4	26
	専門必修	8	8	11	11	38
	企業実習	7	7	7	7	28
合計		23	25	22	22	92

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期										
	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間							
夜間部 共通 一般科目	ホスピタリティⅠ	講	1	15	ホスピタリティⅡ	講	1	15	接客手話Ⅰ	演	1	15	接客手話Ⅱ	演	1	15							
	自己理解Ⅰ	講	1	15	自己理解Ⅱ	講	1	15					ユニバーサルサービス	講	1	15							
	パソコンⅠ	講・演	1	15	パソコンⅡ	講・演	1	15	パソコンⅢ	講・演	1	15	パソコンⅣ	講・演	1	15							
	Let's Speak EnglishⅠ	講・演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	講・演	1	15															
	キャリアデザインⅠ	講・演	1	15	キャリアデザインⅡ	講・演	3	45	キャリアデザインⅢ	講・演	1	15											
	バリアフリー	演	1	15	就職筆記対策	講・演	1	15															
	コミュニケーションⅠ	講・演	1	15	コミュニケーションⅡ	講	1	15	コミュニケーションⅢ	講・演	1	15	コミュニケーションⅣ	講・演	1	15							
	観光業界研究Ⅰ	講・演	1	15	観光業界研究Ⅱ	講・演	1	15															
	小計		8	120	小計		10	150	小計		4	60	小計		4	60							
専門科目	空港旅客サービス入門	講	1	15	空港旅客サービス実務Ⅰ	講・演	1	15	空港旅客サービス実務Ⅱ	講・演	1	15	アナウンス演習	演	1	15							
	エアカーゴ業務Ⅰ	講	1	15	エアカーゴ業務Ⅱ	講	1	15	エアカーゴ業務Ⅲ	講	1	15	社会人準備講座	講・演	1	15							
	中国語Ⅰ	講・演	1	15	中国語Ⅱ	講・演	1	15	中国語Ⅲ	講・演	1	15	中国語Ⅳ	講・演	1	15							
	アマデウスⅠ	演	1	15	アマデウスⅡ	演	1	15	海外旅行実務地理Ⅰ	講	1	15	海外旅行実務地理Ⅱ	講	1	15							
	Airline EnglishⅠ	講・演	1	15	Airline EnglishⅡ	講・演	1	15	Airline EnglishⅢ	講・演	1	15	海外ツアープランニング実務	講・演	2	30							
	業界ガイド	講	1	15	English CommunicationⅠ	演	1	15	English CommunicationⅡ	演	1	15	English CommunicationⅢ	演	1	15							
									ワールドエアチケット	講	1	15	危機管理	演	1	15							
									エアカーゴ総論	講	1	15	ソムリエ講座	講	1	15							
									空港約款ベーシック	講	1	15											
語学 選択 科目	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15							
	韓国語Ⅰ				韓国語Ⅱ				韓国語Ⅰ				韓国語Ⅱ										
*中国語・韓国語は通年での選択				*中国語・韓国語は通年での選択				*中国語・韓国語は通年での選択				*中国語・韓国語は通年での選択											
一般 選択 科目	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15							
	漢字検定対策				漢字検定対策				漢字検定対策				漢字検定対策										
実習	企業実習	実	7	210	企業実習	実	7	210	企業実習	実	7	210	企業実習	実	7	210							
小計			15	330	小計		15	330	小計		18	375	小計		18	375							
合計	1年前期合計		23	450	1年後期合計		25	480	2年前期合計		22	435	2年後期合計		22	435							
	1年計				2年計				2年計				2年計										
					48				930				44				870						
																92				1800			

	1年前期		1年後期		2年前期		2年後期	
	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位	科目名	単位
行事	オリエンテーション合宿		中村学園祭		スポーツ大会		中村学園祭	
	スタートアップセミナー		就職ガイダンス					
	スポーツ大会							

2022年度 夜間部2年 ホテル科

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通必修	8	10	4	4	26
	専門必修	8	8	11	11	38
	企業実習	-	4	-	4	8
合計		16	22	15	19	72

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間
夜間部 共通 一般科目	ホスピタリティⅠ	講	1	15	ホスピタリティⅡ	講	1	15	接客手話Ⅰ	演	1	15	接客手話Ⅱ	演	1	15
	自己理解Ⅰ	講	1	15	自己理解Ⅱ	講	1	15					ユニバーサルサービス	講	1	15
	パソコンⅠ	講・演	1	15	パソコンⅡ	講・演	1	15	パソコンⅢ	講・演	1	15	パソコンⅣ	講・演	1	15
	Let's Speak EnglishⅠ	講・演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	講・演	1	15								
	キャリアデザインⅠ	講・演	1	15	キャリアデザインⅡ	講・演	3	45	キャリアデザインⅢ	講・演	1	15				
	バリアフリー	演	1	15	就職筆記対策	講・演	1	15								
	コミュニケーションⅠ	講・演	1	15	コミュニケーションⅡ	講	1	15	コミュニケーションⅢ	講・演	1	15	コミュニケーションⅣ	講・演	1	15
	観光業界研究Ⅰ	講・演	1	15	観光業界研究Ⅱ	講・演	1	15								
	小計		8	120	小計		10	150	小計		4	60	小計		4	60
専門科目	料理解説Ⅰ	講	1	15	料理解説Ⅱ	講	1	15	料理解説Ⅲ	講	1	15	料理解説Ⅳ	講	1	15
	F&Bサービス演習Ⅰ	演	2	30	F&Bサービス演習Ⅱ	演	2	30	レストランサービス演習Ⅰ	演	1	15	レストランサービス演習Ⅱ	演	1	15
	宿泊サービス演習Ⅰ	演	2	30	宿泊サービス演習Ⅱ	演	1	15	宿泊サービス演習Ⅲ	演	1	15	宿泊サービス演習Ⅳ	演	1	15
	HRS検定対策Ⅰ	講	1	15	HRS検定対策Ⅱ	講	1	15	HRS検定対策Ⅲ	講	1	15	ソムリエ講座	講	1	15
					BC検定対策	講	1	15	ブライダルセールスⅠ	講・演	1	15	ブライダルセールスⅡ	講・演	2	30
									バーテンダー講座Ⅰ	講・演	1	15	バーテンダー講座Ⅱ	講・演	1	15
									飲料解説Ⅰ	講	1	15	飲料解説Ⅱ	講	1	15
									Hotel EnglishⅠ	講・演	1	15	Hotel EnglishⅡ	講・演	1	15
									ブライダル総論	講	1	15				
語学 選択 科目	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15
	中国語Ⅰ 韓国語Ⅰ				中国語Ⅱ 韓国語Ⅱ											
				*中国語・韓国語は通年での選択				*中国語・韓国語は通年での選択								
一般 選択 科目	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15
	漢字検定対策				漢字検定対策				漢字検定対策				漢字検定対策			
実習	企業実習				企業実習				企業実習				企業実習			
					実		4	120					実		4	120
	小計		8	120	小計		12	240	小計		11	165	小計		15	285
合計	1年前期合計		16	240	1年後期合計		22	390	2年前期合計		15	225	2年後期合計		19	345
	1年計				2年計				2年計				2年計			
					2年間 合計								72 1200			

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期				
行事	オリエンテーション合宿		中村学園祭		スポーツ大会		中村学園祭	
	スタートアップセミナー		就職ガイダンス					
	スポーツ大会							

2022年度 夜間部2年 デュアル科ホテルコース

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通必修	8	10	4	4	26
	専門必修	8	8	11	11	38
	企業実習	7	7	7	7	28
合計		23	25	22	22	92

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	
夜間部共通一般科目	ホスピタリティⅠ	講	1	15	ホスピタリティⅡ	講	1	15	接客手話Ⅰ	演	1	15	接客手話Ⅱ	演	1	15	
	自己理解Ⅰ	講	1	15	自己理解Ⅱ	講	1	15					ユニバーサルサービス	講	1	15	
	パソコンⅠ	講・演	1	15	パソコンⅡ	講・演	1	15	パソコンⅢ	講・演	1	15	パソコンⅣ	講・演	1	15	
	Let's Speak EnglishⅠ	講・演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	講・演	1	15									
	キャリアデザインⅠ	講・演	1	15	キャリアデザインⅡ	講・演	3	45	キャリアデザインⅢ	講・演	1	15					
	バリアフリー	演	1	15	就職筆記対策	講・演	1	15									
	コミュニケーションⅠ	講・演	1	15	コミュニケーションⅡ	講	1	15	コミュニケーションⅢ	講・演	1	15	コミュニケーションⅣ	講・演	1	15	
	観光業界研究Ⅰ	講・演	1	15	観光業界研究Ⅱ	講・演	1	15									
	小計		8	120	小計		10	150	小計		4	60	小計		4	60	
専門科目	料理解説Ⅰ	講	1	15	料理解説Ⅱ	講	1	15	料理解説Ⅲ	講	1	15	料理解説Ⅳ	講	1	15	
	F&Bサービス演習Ⅰ	演	2	30	F&Bサービス演習Ⅱ	演	2	30	レストランサービス演習Ⅰ	演	1	15	レストランサービス演習Ⅱ	演	1	15	
	宿泊サービス演習Ⅰ	演	2	30	宿泊サービス演習Ⅱ	演	1	15	宿泊サービス演習Ⅲ	演	1	15	宿泊サービス演習Ⅳ	演	1	15	
	HRS検定対策Ⅰ	講	1	15	HRS検定対策Ⅱ	講	1	15	HRS検定対策Ⅲ	講	1	15	ソムリエ講座	講	1	15	
					BC検定対策	講	1	15	ブライダルセールスⅠ	講・演	1	15	ブライダルセールスⅡ	講・演	2	30	
									バーテンダー講座Ⅰ	講・演	1	15	バーテンダー講座Ⅱ	講・演	1	15	
									飲料解説Ⅰ	講	1	15	飲料解説Ⅱ	講	1	15	
									Hotel EnglishⅠ	講・演	1	15	Hotel EnglishⅡ	講・演	1	15	
									ブライダル総論	講	1	15					
語学選択科目	実用英語検定対策				実用英語検定対策				実用英語検定対策				実用英語検定対策				
	TOEIC対策	講	1	15	TOEIC対策	講	1	15	TOEIC対策	講	1	15	TOEIC対策	講	1	15	
	中国語Ⅰ				中国語Ⅱ				中国語Ⅰ				中国語Ⅱ				
	韓国語Ⅰ				韓国語Ⅱ				韓国語Ⅰ				韓国語Ⅱ				
				*中国語・韓国語は通年での選択								*中国語・韓国語は通年での選択					
一般選択科目	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15	
	漢字検定対策				漢字検定対策				漢字検定対策				漢字検定対策				
実習	企業実習	実	7	210	企業実習	実	7	210	企業実習	実	7	210	企業実習	実	7	210	
	小計		15	330	小計		15	330	小計		18	375	小計		18	375	
合計	1年前期合計		23	450	1年後期合計		25	480	2年前期合計		22	435	2年後期合計		22	435	
			1年計				48		930			2年計				44	
							2年間合計						92				
行事	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期				
	オリエンテーション合宿				中村学園祭				スポーツ大会				中村学園祭				
	スタートアップセミナー				就職ガイダンス												
	スポーツ大会																

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期			
	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間
行事	オリエンテーション合宿				中村学園祭				スポーツ大会				中村学園祭			
	スタートアップセミナー				就職ガイダンス											
	スポーツ大会															

2022年度 夜間部2年 ブライダル科

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通必修	8	10	4	4	26
	専門必修	8	8	11	11	38
	企業実習	-	4	-	4	8
合計		16	22	15	19	72

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期					
	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間		
夜間部 共通 一般科目	ホスピタリティⅠ	講	1	15	ホスピタリティⅡ	講	1	15	接客手話Ⅰ	演	1	15	接客手話Ⅱ	演	1	15		
	自己理解Ⅰ	講	1	15	自己理解Ⅱ	講	1	15					ユニバーサルサービス	講	1	15		
	パソコンⅠ	講・演	1	15	パソコンⅡ	講・演	1	15	パソコンⅢ	講・演	1	15	パソコンⅣ	講・演	1	15		
	Let's Speak EnglishⅠ	講・演	1	15	Let's Speak EnglishⅡ	講・演	1	15										
	キャリアデザインⅠ	講・演	1	15	キャリアデザインⅡ	講・演	3	45	キャリアデザインⅢ	講・演	1	15						
	バリアフリー	演	1	15	就職筆記対策	講・演	1	15										
	コミュニケーションⅠ	講・演	1	15	コミュニケーションⅡ	講	1	15	コミュニケーションⅢ	講・演	1	15	コミュニケーションⅣ	講・演	1	15		
	観光業界研究Ⅰ	講・演	1	15	観光業界研究Ⅱ	講・演	1	15										
	小計		8	120	小計		10	150	小計		4	60	小計		4	60		
専門科目	料理解説Ⅰ	講	1	15	料理解説Ⅱ	講	1	15	飲料解説Ⅰ	講	1	15	飲料解説Ⅱ	講	1	15		
	レストランサービス演習Ⅰ	演	1	15	レストランサービス演習Ⅱ	演	1	15	ブライダルセールスⅠ	講・演	2	30	ブライダルセールスⅡ	講・演	2	30		
	BC検定対策Ⅰ	講	2	30	BC検定対策Ⅱ	講	1	15	宿泊サービス演習	演	1	15	ソムリエ講座	講	1	15		
	ブライダルファッションⅠ	講・演	2	30	ブライダルファッションⅡ	講・演	2	30	ブライダルファッションⅢ	講・演	2	30	ブライダルファッションⅣ	講・演	2	30		
					フラワー技能実務Ⅰ	講・演	1	15	フラワー技能実務Ⅱ	講・演	1	15						
									コーディネーター実務Ⅰ	講・演	1	15	コーディネーター実務Ⅱ	講・演	2	30		
									カラーコーディネートⅠ	講・演	1	15	カラーコーディネートⅡ	講・演	1	15		
語学 選択 科目	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15		
	中国語Ⅰ 韓国語Ⅰ				中国語Ⅱ 韓国語Ⅱ			中国語Ⅰ 韓国語Ⅰ				中国語Ⅱ 韓国語Ⅱ						
				*中国語・韓国語は通年での選択								*中国語・韓国語は通年での選択						
一般 選択 科目	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15		
	漢字検定対策				漢字検定対策			漢字検定対策				漢字検定対策						
実習	企業実習				実	4	120	企業実習				実	4	120				
	小計		8	120	小計		12	240	小計		11	165	小計		15	285		
合計	1年前期合計		16	240	1年後期合計		22	390	2年前期合計		15	225	2年後期合計		19	345		
	1年計				38				630				2年計				34	570
	2年間合計																72	1200

	1年前期	1年後期	2年前期	2年後期
行事	オリエンテーション合宿 スタートアップセミナー スポーツ大会	中村学園祭 就職ガイダンス	スポーツ大会	中村学園祭

2022年度 夜間部2年 テーマパーク科

進級・卒業基準単位

		1年		2年		卒業 基準単位
		前期	後期	前期	後期	
必修	共通必修	8	10	4	4	26
	専門必修	8	8	11	11	38
	企業実習	-	4	-	4	8
合計		16	22	15	19	72

各期全単位を取得すること。

履修科目・単位一覧

実務経験のある教員による科目

	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期											
	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間	科目名	区分	単位	時間								
夜間部共通一般科目	ホスピタリティ I	講	1	15	ホスピタリティ II	講	1	15	接客手話 I	演	1	15	接客手話 II	演	1	15								
	自己理解 I	講	1	15	自己理解 II	講	1	15					ユニバーサルサービス	講	1	15								
	パソコン I	講・演	1	15	パソコン II	講・演	1	15	パソコン III	講・演	1	15	パソコン IV	講・演	1	15								
	Let's Speak English I	講・演	1	15	Let's Speak English II	講・演	1	15																
	キャリアデザイン I	講・演	1	15	キャリアデザイン II	講・演	3	45	キャリアデザイン III	講・演	1	15												
	バリアフリー	演	1	15	就職筆記対策	講・演	1	15																
	コミュニケーション I	講・演	1	15	コミュニケーション II	講	1	15	コミュニケーション III	講・演	1	15	コミュニケーション IV	講・演	1	15								
	観光業界研究 I	講・演	1	15	観光業界研究 II	講・演	1	15																
	小計	8	120	小計	10	150			小計	4	60	小計	4	60										
専門科目	料理解説 I	講	1	15	料理解説 II	講	1	15	飲料解説 I	講	1	15	飲料解説 II	講	1	15								
	レストランサービス演習 I	演	1	15	レストランサービス演習 II	演	1	15	テーマパークイングリッシュ I	講・演	1	15	テーマパークイングリッシュ II	講・演	1	15								
	中国語 I	講・演	1	15	中国語 II	講・演	1	15	バルーンアート II	演	1	15	English Communication	講	1	15								
	パークオペレーション I	演	1	15	レクリエーション演習 I	演	2	30	パークオペレーション II	演	1	15	レクリエーション演習 II	演	2	30								
	ダンス演習 I	演	2	30	バルーンアート I	講・演	1	15	ダンス演習 II	演	2	30	ソムリエ講座	講	1	15								
									カラーコーディネート I	講・演	1	15	カラーコーディネート II	講・演	1	15								
									エンターテイメントメイク	演	2	30	アナウンス演習	演	1	15								
													社会人準備講座	講・演	1	15								
語学選択科目	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15	実用英語検定対策 TOEIC対策	講	1	15								
	韓国語 I				韓国語 II				韓国語 I				韓国語 II											
*中国語・韓国語は通年での選択				*中国語・韓国語は通年での選択				*中国語・韓国語は通年での選択				*中国語・韓国語は通年での選択												
一般選択科目	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定3級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15	秘書検定2級対策	講	1	15								
	漢字検定対策				漢字検定対策				漢字検定対策				漢字検定対策											
実習	企業実習				実	4	120	企業実習				実	4	120										
	小計	8	120	小計	12	240			小計	11	165	小計	15	285										
合計	1年前期合計		16	240	1年後期合計		22	390	2年前期合計		15	225	2年後期合計		19	345								
	1年計				38				630				2年計				34				570			
	2年間 合計																72		1200					
行事	1年前期				1年後期				2年前期				2年後期											
	オリエンテーション合宿 スタートアップセミナー スポーツ大会				中村学園祭 就職ガイダンス				スポーツ大会				中村学園祭											

夜間部

共通一般科目

シラバス(授業計画)

科目名	接客手話Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	夜間部全科、デュアル科全コース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	飯塚 佳代			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	手話通訳士		
授業概要	ユニバーサルサービスとして接客における手話を身に着ける。前期は5級の単語学習中心におこない、後期は4級単語学習を行う。聴覚障がいをお持ちのお客様に対して手話でのコミュニケーションがとれるようにする。			
到達目標	手話検定4級レベルを目指す。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：手話技能検定4級			
教科書 教材	手話技能検定公式テキスト3・4級(日本能率協会マネジメントセンター)			
授業計画	<p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅰ】 あいさつ・天候・疑問・数字・日にち・時間・家族・色・方角・感情・動作・自然・仕事などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅱ】 食べ物・動物・スポーツ・趣味・乗り物・形容詞・副詞・施設・地名・接客手話などを学習する。</p> <p>【日常生活に必要な基本を学習Ⅲ】 手話で行う歌や検定対策に向けて過去問題の学習を行う。</p> <p>【聴覚障害概要の学習】 手話とは・聴覚障害者とは・耳の構造・聴覚障害の種類・聴覚障害者数・聞こえのレベル・身体障害者等級・聴覚障害者のコミュニケーション方法・合理的配慮・手話言語条例・強味と弱味・ろう文化など</p>			
成績評価 方法	授業内におこなう実技試験と期末試験、出席率、授業態度を総合的に評価します。			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	パソコンⅢ・Ⅳ			科目区分	共通一般科目
対象	夜間部全科・デュアル科全コース			授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	寺園 聡				
	実務経験：☑・無	パソコンスクールでの勤務実績有り			
授業概要	ビジネスシーンだけでなく プライベートでのパソコン使用についても理解を深め Office ソフトだけでなく 幅広くパソコンの知識を身につけていきます				
到達目標	Excel 関数の応用・PowerPoint の基本操作とアニメーションを駆使したプレゼンテーション資料の作成 クラウドサービスやパソコンの設定など日常に役立つ知識の習得				
検定資格	なし・必修・☑ 名称:				
教科書 教材	30 時間アカデミック 情報リテラシー Office2010(実教出版) USB				
授業計画	<p>【Excel】 見積書など関数を多く利用した資料の作成 簡単なグラフの作成 データの活用方法について学びます</p> <p>【PowerPoint】 基本操作の習得 図・動画・音源の挿入や編集 アニメーションを活用したプレゼン資料作成</p> <p>【パソコンの設定】 スタートアップの設定 フォントの管理 クラウドサービスの活用 USB など外付け機器 上記の設定や詳細について実際に操作しながら習得していきます。</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80%以上・出席率 90%以上・平常点 優</p> <p>B: 評価試験 50%以上・出席率 70%以上・平常点 良</p> <p>C: 評価試験 30%以上・出席率 60%以上・平常点 可</p> <p>D: 評価試験 30%未満・出席率 60%未満・平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	キャリアデザインⅢ	科目区分	共通科目
対象	夜間部全科、デュアル科全コース	授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位
担当	就職担当		
	実務経験：有・ <input checked="" type="checkbox"/> 無		
授業概要	<p>就職活動は「内定」という目標に向かって、その時期にすべきことを確実にクリアしていくことが大切です。就職活動が本格化する2年前期では、各企業からの採用情報が日々発信され、学校にも多くの求人情報が届きます。この授業では就職活動の実践を重要視し、企業から届いた求人の紹介や解説を行い実際に動いている求人票についても解説します。</p> <p>また個々の進行に応じ個別に就職活動をバックアップし、内定に向け皆さんの取り組みをサポートしていきます。</p> <p>*就職活動状況によりキャリアサポートセンター等就職用PC教室での就職活動も含まれます。</p>		
到達目標	就職内定を勝ち取る。また就職活動を通じて社会で通用する人材を目指す。		
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:		
教科書教材	CAREER ADVICE TEXT (ベネッセiキャリア)		
授業計画	<p>【就職活動基礎知識 ～情報収集編～】 求人票の見方、求人票用語解説、インターネットを使った情報収集、雑誌・本の活用、ジョブカフェ、ハローワークなどの各支援内容紹介</p> <p>【就職活動実践】 エントリー方法案内、会社説明会、選考試験案内、自己PR添削指導、志望動機添削指導、履歴書作成、エントリーシート作成、面接演習、内定後対応</p> <p>【就職活動基礎知識 ～ビジネスマナーの確認～】 Eメール作成ポイント、Eメールの書き方、御礼状などを書く際のポイント、書き方、手紙の書き分けのポイント 電話のかけ方マニュアル、携帯電話マナー、敬語、クッション言葉、身だしなみ、新入社員としての心構え、退職と転職について</p>		
成績評価方法	期末試験の得点ならびに出席率がメインとなります。平常点は就職活動(進路活動)の取り組む姿勢、授業態度、提出物などが評価基準です。		
成績評価基準	<p>A: 評価試験 85 点以上 かつ 出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 65 点以上 かつ 出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上 かつ 出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>		

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	コミュニケーションⅢ・Ⅳ			科目区分	共通科目
対象	夜間部全学科、デュアル科全コース			授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	担任				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	1年間の経験から、自分にまだまだ足りないものや、努力していかなくてはいけないものを発見し、就職活動に向けて、気持ちを盛り立たせていく。 りっぱな社会人として、旅たてる準備をしっかりとしていく。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・しっかりと人間形成ができあがっているか？ ・自分に足りないものを他の人の経験や、現場を見て確認していく。 ・学生生活の集大成としての、クラス活動を行う。 				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【就職活動に向けての心の準備】 過去1年間の学生生活を振り返り、これからの時間の使い方をしっかりと考える。</p> <p>【友達への思い】 友達と協力して、楽しい1年を送るには、どうすればいいかを考える。</p> <p>【後期に向けての心の準備】 後期にむけての目標を建てる。</p> <p>【残りの半期の過ごし方】 どのように残りの学生生活を送れば、満足のいく結果を得る事ができるかをみんなで考える。</p> <p>【学生生活の集大成を考える】 社会人となるための心の準備はしっかりと出来ているかの確認。</p> <p>【人間としての在り方】 1年間の反省 将来に向けて</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：提出物取組評価（理解度）80%以上、出席率80%以上、平常点優 B：提出物取組評価（理解度）70%以上、出席率70%以上、平常点良 C：提出物取組評価（理解度）60%以上、出席率60%以上、平常点可 D：提出物取組評価（理解度）60%未満、出席率60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	ユニバーサルサービス		科目区分	共通科目
対象	夜間部全学科、デュアル科全コース		授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	高橋紀子 / 土井 彰 / 澤内 隆			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	障害のある無しにかかわらず接しながらサービスを行うためにはどのような知識、理論、技術が必要なのでしょう か？生活のしづらさ、生きづらさを抱えている方への配慮などについて考えましょう。ユニバーサルデザインと は、障害の有無・年齢・性別・国籍・人種などにかかわらず、さまざまな人々が気持ちよく使えるように考えられたも のであり、どんなところに使われているのか考えましょう。また、他国の現状と日本の現状を比べることで今度の 日本を考え、超高齢社会におけるユニバーサルサービスについて考えていきます。			
到達目標	1、ユニバーサルデザインとは何か？バリアフリーとの違いを理解する。 2、発達・知的・精神障害などについて概要・特性を理解し、多様なコミュニケーションに繋げる。 3、障害のあるなしにかかわらずサービスを行う知識と理論、技術を持つ。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	介護レクリエーション・サポーター研修(公益財団法人日本レクリエーション協会) レジュメほか			
授業計画	<p>【ユニバーサルデザイン(UD)とは？】 ユニバーサルデザインについて概要説明、UD7原則について学ぶ、 UDとBFの違いについて理解する、現在の社会状況を認知しUDの 役割を考える</p> <p>【さまざまな障害】 身体障害、精神障害、発達障害、知的障害などについての法律、制度、種類、特性などを学ぶ</p> <p>【さまざまな障害に対する方法】 さまざまな障害についての特性を考え、その個別性について対応する理論や技術を学ぶ</p> <p>【これからの日本】 他国の現状と日本の現状をくらべ、超高齢社会におけるユニバーサルサービスを各自考え、グループワークを行 う</p> <p>【まとめ】 テスト まとめ</p>			
成績評価 方法	評価試験、出席率、提出物、平常点			
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 授業内期末試験 50%以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 授業内期末試験 30%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業内期末試験 30%未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

障害の有無・年齢・性別・国籍・人種などにかかわらずサービスを行うためにはどのようなことが、必要なのでしょうか？
いろいろな知識、理論、技術を学びながら、一緒に考えていきましょう。

夜間部

選択科目

シラバス(授業計画)2年生

科目名	実用英語検定対策			科目区分	語学選択科目
対象	夜間部全学科、デュアル科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	今まで学んできた文法、単語、熟語の復習をしながら過去問題にも取り組み、知識の定着をめざします。リスニングは過去問題も含め、何度も聞いてリスニング力の向上を目指します。				
到達目標	英検の出題形式に慣れる。 英検で求められる英語力を取得する。				
検定資格	任意 名称：実用英語技能検定				
教科書 教材	英検3級をたった7日で総演習 (学研)				
授業計画	<p>【適切な語句を選ぶ問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・単語 ・熟語 ・文法 <p>【適切な英文を選ぶ問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話文 <p>【長文問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長文の内容一致 ・掲示(メモ・案内)、Eメール・手紙、説明文 <p>【英作文】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解き方の注意点 ・書き方のポイント <p>【リスニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・会話の応答文選択 ・内容一致 <p>【過去問題演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・過去問題 				
成績評価 方法	授業内の小テスト、学期末試験、平常点、出席率による総合評価とする。				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率80%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験(理解度)40%以上、出席率60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験(理解度)40%未満、出席率60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

“身近な英語を理解し、また使用することができる”を目標に、繰り返し、しっかり学んでいきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	TOEIC 対策			科目区分	語学選択科目
対象	夜間部全科、デュアル科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	眞館 尚子				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	TOEIC によく出る英単語・熟語をテーマ毎に効率よく覚え、基本となる文法理解の定着を図っていきます。さらに各パートのコツを習得し、より早く確実に解答し高得点をとれるように学習していきます。				
到達目標	TOEIC のテスト形式に慣れる 400点以上、もしくは前回より100点アップ				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称 TOEIC 検定				
教科書 教材	TOEIC テスト英文法をひとつひとつわかりやすく 学研				
授業計画	<p>【語彙】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC によく出る単語を効率よく覚え、Part5 と 6 の問題を中心に問題を解いて、TOEIC に慣れていきます。 <p>【文法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英文法の授業で学んだことを基本に、時間との勝負である TOEIC のテストで効率よく解答できるように学んでいきます。 <p>【読解問題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・TOEIC での読解問題はスピードが必要になります。和訳していくのではなく、大まかな内容を把握する Skimming と特定のワードや情報を探し出す Scanning ができるように短い文章から少しずつ慣れ、正確に解答できるように学習していきます。 <p>【リスニング】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・それぞれのパートのコツを掴み、アメリカ・カナダ・オーストラリア・イギリス、それぞれの発音に慣れる。 				
成績評価 方法	期末テスト、出席率、授業態度を総合して評価します。 期末テストを欠席した場合(公欠を除く)、0点とみなします				
成績評価 基準	A: 評価試験 80%以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験 60%以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

1年生に引き続き、TOEIC の点数アップのため、コツをしっかり掴み、楽しく学んでいきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	韓国語 I・II			科目区分	語学選択科目
対象	夜間部全学科、デュアル科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	渡部 茂				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	場面を設定して、簡単な動詞や形容詞を使用しながら、会話中心の授業				
到達目標	簡単な「接客会話」と「日常会話」が出来るようになること				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：ハングル検定（日本主催）、韓国語能力試験（韓国主催）				
教科書 教材	日本語式から学ぶ韓国語概説 渡部 茂 著				
授業計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 基本的な会話 一日の挨拶、何を召し上がりますか 等 2. 日常会話 行ってきます、お昼ご飯何を食べるの、等 3. 旅行・観光 私の席はどこですか、まもなく離陸致します、等 4. ホテル滞在 部屋を予約したいのですが、お名前を頂戴して宜しいでしょうか、等 5. 飲食会話 飲み物は何になさいますか、ごゆっくりどうぞ、等 6. 交通・乗り物 千葉駅はどこですか、真っ直ぐ行けば見えます、等 				
成績評価 方法	出席状況並びに積極的な授業参加の意欲と姿勢 授業内での要点整理の演習問題の可否 上記を総合的に判断して評価とする				
成績評価 基準	A: 出席率 80%以上、評価試験(理解度)80%以上、平常点 A B: 出席率 70%以上、評価試験(理解度)70%以上、平常点 B C: 出席率 60%以上、評価試験(理解度)50%以上、平常点 C D: 出席率 60%未満、期末試験受験不可				

学生へのメッセージ

言葉の勉強はビジネス科目とは異にし、特に基礎の継続性が大事で連続的に授業に参加してほしい
勤労学生の身だとはいえ、自分自身を厳しく処し甘えの誘惑に打ち勝ってほしい
そうすることで必ずや新しい世界が開けてくるものだから

シラバス(授業計画)

科目名	中国語Ⅰ・Ⅱ			科目区分	語学選択科目
対象	夜間部ホテル科・ブライダル科、デュアル科ホテルコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	張 翼飛				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	この授業は初めて中国語を学習する学生を対象とする。発音の習得を重視し、簡単な言葉や表現を身につける、初歩的な中国語でコミュニケーションを取れるように目指します。				
到達目標	基本的な会話を身に付け、就職先の現場で想定される状況に応じた対応できるレベルを目標とします。				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：中国語検定試験				
教科書 教材	中国語初歩の初歩（高橋書店）				
授業計画	<p>【テーマパーク編】 テーマパーク入場編 案内編 レストラン編 ブライダル編</p> <p>【ホテル編】 ホテルのフロント編 チェックイン編 客室編 換金と案内編</p> <p>チェックアウト編 ホテル内レストラン編</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

毎日の生活や文化をテーマにした授業を通じて、自然に中国語の力がつきます。ぜひ楽しい授業と一緒に盛り上げましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	秘書検定 2 級対策			科目区分	一般選択科目
対象	夜間部全学科、デュアル科全コース			授業形式	講義
実施期	2 年 前期・後期	単位数	前期：1 単位 後期：1 単位	時間数	前期：15 時間 後期：15 時間
担当	眞舘 尚子				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	秘書検定は、職務知識、一般知識、マナー知識などが必要とされます。また、これから社会人となるために必要な知識を身に着けることにも役立ちます。このクラスでは、問題を解きながら自分自身を高めるべく社会常識を学び検定 2 級合格を目指します。				
到達目標	秘書検定 2 級合格を目指します。				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：秘書技能検定 2 級				
教科書教材	秘書検定2・3級合格教本（新星出版社）				
授業計画	<p>【秘書の資質】 社会人としての良識／補佐役としての心がけ／求められる能力・人柄／身だしなみ・立ち居振る舞い</p> <p>【職務知識】 秘書と上司の仕事の違い／秘書の職務／定型業務・非定型業務／上司が不在の対応について</p> <p>【一般知識】 企業・組織についての基礎知識／人事・労務・マーケティング・経営・会計・財務・税務・金融と経営法務の基礎知識 ビジネス用語／カタカナ語と略語</p> <p>【マナー接遇】 人間関係／敬語／話し方・聞き方／苦情対応／報告と説明／受付と取次／来客対応の常識／電話の受け方・取次／慶弔業務・マナー／贈答のしきたり</p> <p>【技能】 会議について／ビジネス文書(社内・社外)／メモの取り方／グラフの書き方／郵便物・電子メール等の受発信／取引について／ファイリングについて／名刺・資料の収集と管理／スケジュール管理／室内環境の整備／事務用品とオフィス機器の知識</p>				
成績評価方法	授業理解度を図るために適宜小テストを行います。 全ての小テスト及び評価試験を総合評価で判断します。 小テスト及び評価試験を欠席した場合は0点とし、出席状況、授業参加意欲も評価します。				
成績評価基準	A: 期末試験 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B: 期末試験 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C: 期末試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 期末試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

2級合格にむけては3級でつけた知識を基礎として、さらなる知識が必要になります。3級で学んだことを復習しつつ、2級の知識をつけていきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	漢字検定対策			科目区分	一般選択科目
対象	夜間部全学科、デュアル科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	漢字は一般知識として就職試験に出題されている。漢検を取得することは就職活動にも役立ち、大変有利である。しかし、日頃から適切な準備をしないと合格に結びつかない。学生時代に身につけた日本語の力が「社会力」となる。そこで、社会人として、すぐに役立つ漢検資格取得に向け、半年間の授業で準備を行う。また、漢字を学ぶ楽しさ、面白さを味わいつつ、さらに社会人の教養として身に付けたい日本語力・漢字力の日常的な訓練も取り入れつつ、漢字を身に付け、日本語力の向上を目指す。				
到達目標	漢字検定3級取得を目標とする（既に3級合格者はそれ以上の取得を目標とする） 社会人の教養として漢字を身に付け、日本語力の向上を目指す				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意（受講者全員原則として漢字検定3級を受験すること） 日本漢字能力検定2級・準2・3級 試験日 6・10・2月				
教科書教材	漢検2級・準2級・3級分野別問題集 改正二版（日本漢字検定協会） ※既に3級合格者は準2級、準2級合格者は2級の教科書				
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・漢検とは／漢字の読み：漢字検定とは何か？漢字検定の必要性について漢字の読みについて学ぶ ・漢字の部首：それぞれの漢字の部首と名称について学ぶ ・熟語の構成・作成：熟語の構成・作成について学ぶ ・漢字の識別：漢字の識別について学ぶ ・対義語・類義語：対義語・類義語と意味について学ぶ ・四字熟語（古事成語）：四字熟語・古事成語とその意味を学ぶ ・送り仮名：正しい漢字と送り仮名のつけ方を学ぶ ・同音異義語：同じ音で意味の異なる語を学ぶ ・書き取り：漢字の書き取りを学ぶ ・誤字訂正：文章内にある誤字を探し出し、正しい漢字に訂正する ・模擬試験（級別）：各級別に模擬試験を行う ・定期試験：授業内で定期試験を実施する ・定期試験 解説&まとめ：定期試験のフィードバックと解説を行う 				
成績評価方法	出席状況並びに積極的な授業参加の意欲と姿勢 授業内での要点整理の演習問題の可否、学期末試験等を総合的に判断して評価とする				
成績評価基準	<p>A：授業・試験理解度 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優</p> <p>B：授業・試験理解度 60 点以上、出席率 70%以上、平常点 良</p> <p>C：授業・試験理解度 40 点以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D：授業・試験理解度 40 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可</p> <p>※評価試験は小テスト・定期試験の総合評価。小テストは、毎回実施する。</p>				

学生へのメッセージ

夜間部

専門科目

エアライン科

デュアル科エアラインコース

シラバス(授業計画)

科目名	空港旅客サービス実務Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	夜間部エアライン科、デュアル科エアラインコース		授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	湊 さやか			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	エアライン業界にて客室乗務員として7年間の実務経験あり。		
授業概要	1年次の空港旅客サービス入門、実務Ⅰに引き続き、将来空港で働くために必要な航空業界の知識を習得します。実務Ⅱでは、空港免税店で取り扱うブランド商品について学び、各国通貨での支払いの計算方法を習得します。また、航空機事故や緊急事態の事例を学習することにより、空港や機内での保安要員としての役割をしっかりと理解します。			
到達目標	①学習内容を全て理解し、習得する。 ②空港や機内での保安要員としての役割をしっかりと理解する。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし(プリント配布)			
授業計画	<p>【VISA/乗り継ぎ】 VISAの種類 乗り継ぎにおける出入国審査と税関</p> <p>【各国通貨/免税品】 世界の通貨について 機内販売での通貨計算 ブランドとその特徴</p> <p>【危険物】 危険物の種類とカテゴリー</p> <p>【保安要員/緊急時対応】 空港でのトラブル ハイジャック 航空機事故の事例 安全対策</p> <p>【期末テスト】</p>			
成績評価 方法	授業への参加意欲 期末テスト			
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)50%以上、出席率60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)50%未満、出席率60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	エアカーゴ業務Ⅲ			科目区分	専門科目
対象	夜間部エアライン科、デュアル科エアラインコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：15時間
担当	栞原 和希				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	物流関連企業にて実務経験あり。			
授業概要	1年時に習った「国際航空貨物」に関わる知識を更に向上するため、「国際航空貨物業界」で働くために必要な仕組み、運賃、航空機機材、危険物輸送、海上貨物輸送、貿易実務についての知識を学びます。				
到達目標	「航空貨物業界(エアカーゴ業界)」で働くための仕事と知識を修得する。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし(講師資料・プリント配布)				
授業計画	<p>【航空貨物代理店の仕事】 航空貨物代理店・輸出入業務の流れ</p> <p>【航空貨物運賃について】 航空貨物運賃の種類と計算 (最低運賃・一般貨物賃率・特定品目賃率・品目別賃率・割増と割引運賃・その他特殊)</p> <p>【国際貨物輸送規則について】 時刻表の見方(空港コード、航空機コード、その他コード、時差、航空時間の計算等) 貨物の受託制限(危険物貨物輸送、その他特殊貨物) 航空運送状</p> <p>【海上貨物輸送について】 航空貨物輸送との違い 海上コンテナについて</p>				
成績評価 方法	授業への参加意欲 授業内小テスト 期末テスト				
成績評価 基準	A：授業内期末試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点良好 B：授業内期末試験(理解度)60%以上、出席率70%以上、平常点良好 C：授業内期末試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点普通 D：授業内期末試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点不良				

学生へのメッセージ

航空貨物業界は聞いた事はあるものの実態については知られていないことが多いため、授業を通してどのような仕事・業務があるのか、知識を深めてください。

シラバス(授業計画)

科目名	中国語Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	夜間部エアライン科、デュアル科エアラインコース			授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	張 翼飛				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	この授業は1年の発音と基本文法を学習後の応用コースです、主に初歩的表現とその応用を中心に行い、特に空港もしくは空港関連する職場で使う会話を取り入れたいです。				
到達目標	空港でよく使う中国語フレーズを会話できるようになる。				
検定資格	なし・必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称：中国語検定試験				
教科書 教材	前期 中国語の初歩の初歩（高橋書店） 後期 講師作成プリントを基づき学習します。				
授業計画	<p>空港で使える中国語を学習します。</p> <p>空港チェックイン編 出国編 免税編 搭乗編 機内編</p> <p>到着編 入国編 税関申告編</p> <p>悪天候の対応編</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率90%以上、平常点 優 B: 評価試験(理解度)70%以上、出席率80%以上、平常点 良 C: 評価試験(理解度)60%以上、出席率60%以上、平常点 可 D: 評価試験(理解度)60%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

毎日の生活や文化をテーマにした授業を通じて、自然に中国語の力がつきます、楽しい中国語授業になるので一緒に盛り上げましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	海外旅行実務地理Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	夜間部エアライン科、デュアル科エアラインコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期: 1単位 後期: 1単位	時間数	前期: 15時間 後期: 15時間
担当	前期: 松川 信也		後期: 担当講師		
	実務経験: <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	松川: 元添乗員。旅行コンサル会社経営。総合旅行業務取扱管理者。 担当講師: 旅行業界にて旅程管理実務経験あり。現在も添乗員として勤務。			
授業概要	空港より海外へ旅立ってゆく旅客の行く先は、いったいどんな国なのか。日本人の主要渡航先の国について主要観光資源や文化、しきたりを学び、空港での業務の一助としてゆく。				
到達目標	日本人の主要渡航先の国々についての主要観光資源、文化、しきたりを理解し、説明できる。				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	「旅に出たくなる地図 世界」(帝国書院)				
授業計画	<p>前期: 【世界の5大陸／主要国】 地球規模の世界の主要国の国名、位置など基礎情報を白地図を使い把握。</p> <p>【大陸別主要国各論＝北米・南米】 世界の5大陸のうち、北米、南米について主要国の情報を学習。 地図帳とプリントで主に学習するが、随時DVD使用し視覚的に理解を進める。</p> <p>後期: 【大陸別主要国各論＝ヨーロッパ、アフリカ、アジア】 世界の5大陸のうち、ヨーロッパ、アフリカ、アジアについて主要国の情報を学習。 講師の添乗員としての経験を活かし、実際に現地を訪問したら起こるであろう出来事を通して楽しく現地の文化、風習を学ぶ。</p>				
成績評価 方法	小テストを随時行い(各期数回程度、平常点扱い)、知識の定着を図る。前期、後期とも知識の習得度合いを期末時(期末試験)に実施し、評価試験とする。複数回提出物があり、平常点扱いとする。平常点、出席率、評価試験合計点の総合評価。				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

空港業務で出会う旅客の行先の理解も勿論ですが、ご自分の海外旅行のネタ探しにも最適な授業です。楽しく海外観光地を学んでください。

シラバス(授業計画)

科目名	Airline English III			科目区分	専門科目																								
対象	夜間部エアライン科、デュアル科エアラインコース			授業形式	講義・演習																								
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：15時間																								
担当	古内 洋一																												
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	JALの国際線パーサーとして、その国際線すべての路線の乗務経験有り。																											
授業概要	エアライン業界で使用される専門用語を含む英語を理解し、英語で表現出来るようにする。 客室業務、グラウンドハンドリング、エアカーゴ業務等に対処可能な英語を学ぶ。																												
到達目標	外国人からの挨拶、要望、質問等を正しく理解し、親切で丁寧な応対が出来るようになること。																												
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:																												
教科書 教材	オリジナルテキスト、及び 必要な資料を適宜プリント配布																												
授業計画	<p>【機内サービスの概略及び、そのシミュレーション】 Liquor and Meal Service, Duty-free items sales, In-flight movie, CIQ, etc.</p> <p>【英会話実践】 cf. What' s the weather like in New York? How long will it take to the destination? What' s the flight time from Narita to New York? How many passengers and flight crew are there on this flight?</p> <p>【英会話演習、お客様の様々な質問、要望、空港・機内アナウンス】 TIM(Travel information manual), OAGの見方 Wheelchair, bassinet, stretcher, special meal Flight delay announcement、Welcome announcement、Farewell announcement Emergency procedure、First Aid、</p> <p>【英会話演習 期末試験】 これまで学習したことの総復習 Question and Answer</p>																												
成績評価 方法	出席率、期末試験、授業参加意欲で評価																												
成績評価 基準	<table border="0"> <tr> <td>A：出席率</td> <td>80%以上</td> <td>期末試験</td> <td>80点以上</td> <td>平常点</td> <td>優</td> </tr> <tr> <td>B：出席率</td> <td>70%以上</td> <td>期末試験</td> <td>70点以上</td> <td>平常点</td> <td>良</td> </tr> <tr> <td>C：出席率</td> <td>60%以上</td> <td>期末試験</td> <td>60点以上</td> <td>平常点</td> <td>可</td> </tr> <tr> <td>D：出席率</td> <td>60%未満</td> <td>期末試験</td> <td>60点未満</td> <td>平常点</td> <td>不可</td> </tr> </table>					A：出席率	80%以上	期末試験	80点以上	平常点	優	B：出席率	70%以上	期末試験	70点以上	平常点	良	C：出席率	60%以上	期末試験	60点以上	平常点	可	D：出席率	60%未満	期末試験	60点未満	平常点	不可
A：出席率	80%以上	期末試験	80点以上	平常点	優																								
B：出席率	70%以上	期末試験	70点以上	平常点	良																								
C：出席率	60%以上	期末試験	60点以上	平常点	可																								
D：出席率	60%未満	期末試験	60点未満	平常点	不可																								

学生へのメッセージ

エアライン業界及びエアポートで働く際には英語によるコミュニケーション能力が欠かせない。
 必要な専門用語を学びながら、外国人との英会話がスムーズに出来るように努力して欲しい。

シラバス(授業計画)

科目名	English Communication II・III			科目区分	専門科目
対象	夜間部エアライン科、デュアル科エアラインコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	語学担当講師				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	Students will practice speaking, listening & reading skills on a broad range of topics.				
到達目標	The students will build on the English skills they gained in the first year, with the emphasis on communication skills.				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	Stretch Starter Student Book (Oxford)				
授業計画	1st Semester:		2nd Semester:		
	Food and Drinks Things We Do At Home Free Time Activities		Popular Sports Big Events Plans On Vacation		
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	A：評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B：評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点 良 C：評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	ワールドエアチケット		科目区分	専門科目
対象	夜間部エアライン科、デュアル科エアラインコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	松川 信也			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	1年次より蓄積してきた航空業界についての専門知識を、「旅行」という別の視点から補完、拡充する。また利用者の観点から航空利用にあたっての知っている便利な知識を、数点学習する。			
到達目標	① 観光業界全体の観点から、羽田・成田両空港の歴史・意義を把握する。 ② 航空業界の各種最新トピックス、新しい空港名、LCC動向、等について説明できる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>【2022年観光業界の動向】 コロナ騒動の終結を視野に、航空業界も含めた観光業界全体の動向を、講師独自の観点でのプレゼンテーションを行う。</p> <p>【成田と羽田 最新トピックス】 日々進化している成田、羽田の最新事情。AIによる空港サービスも導入されつつある。利用者から見た東京の2大空港の現状を研究する。</p> <p>【国内・海外の「空港名」～そのお国柄】 日本国内も、海外でも、突然空港名が変更になったりする。その地域に貢献した人物名をつけたり、地域の観光資源の名称をつける空港もある。それらの主なものを把握して、その地域(国)の特性を把握する。</p> <p>【LCCの最新動向把握】 まだまだフルサービスキャリアが主体の日本のエアラインだが、海外ではLCCがすでに主体の地域もあり、日本でもジワジワと増えている。その最新状況を把握する。</p>			
成績評価 方法	小テストを各パート終了時に実施し、平常点扱いとする。欠席の場合は0点となるので注意。期末試験を評価試験として実施する。平常点、出席率、評価試験合計点の総合評価。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優 B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上 C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上 D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可			

学生へのメッセージ

元旅行の添乗員の講師が、あくまで利用者の立場で空港のさまざまなトピックスを解説します。空港についての見聞を広げて、実務に役立ててください。

シラバス(授業計画)

科目名	エアカーゴ総論	科目区分	専門科目
対象	夜間部エアライン科、デュアル科エアラインコース	授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位
担当	栞原 和希		
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	物流関連企業にて実務経験あり。	
授業概要	これまで学習してきた国際航空貨物業界の知識をより深く理解する事を目標に、その他の貨物輸送業界更に航空産業に従事する上で必要な一般教養と情勢など幅広い知識を学びます。		
到達目標	国際貨物業界のみならず社会人として必要な知識の習得		
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:		
教科書 教材	なし		
授業計画	<p>【国際貨物業界の現状】 国際貨物業界誌から見る業界の現状 新聞・TV から見る業界の現状 これからの展望</p> <p>【その他貨物輸送業界の現状】 海上貨物輸送 トラック・鉄道貨物輸送等</p> <p>【社会人として必要な知識】 年金・税金・株式・個人投資などの仕組み解説 企業(会社)の組織、給与、人事制度の解説 新聞・TV等を活用した時事ニュース解説</p>		
成績評価 方法	授業への参加意欲 授業内小テスト 期末テスト		
成績評価 基準	A : 授業内期末試験 (理解度) 80%以上、出席率 90%以上、平常点優 B : 授業内期末試験 (理解度) 60%以上、出席率 70%以上、平常点良 C : 授業内期末試験 (理解度) 40%以上、出席率 60%以上、平常点可 D : 授業内期末試験 (理解度) 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可		

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	空港約款ベーシック		科目区分	専門科目
対象	夜間部エアライン科、デュアル科エアラインコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	松川 信也			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	国際線を利用する旅客との間で、航空券の予約・購入から始まり、チェックイン（搭乗手続）、搭乗、機内、現地到着まで、それらは航空会社の決めたルール（約款）に基づき運航されている。当授業では、日本航空（JAL）国際線を例として、その考え方および主要な具体的ルールを学習し、空港での業務（エアライン地上職、センディング業務など）の基礎知識を学習する。			
到達目標	日本発の国際線旅客運送に関し、大手エアラインの主たる約款の内容を理解し、空港での搭乗手続き時の基本ルールを説明できる。 ②航空業界の各種最新トピックス、LCC動向、等について説明できる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし(プリント配布)			
授業計画	<p>【国際航空約款】 日本航空（JAL）国際線を例として、</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 航空券の種類 ② 購入時のルール ③ 大人と小児の違い ④ 手荷物運送のルール ⑤ ペット運送のルール ⑥ 搭乗拒否事項 <p>など具体的内容を学習する。</p> <p>【ケーススタディ】 上記の約款を踏まえて、実際に空港で発生するであろういくつかの事態の対処法をケーススタディにて学ぶ。</p>			
成績評価 方法	小テストを各パート終了時に実施し、平常点扱いとする。期末試験にて全体の理解度チェック。平常点、出席率、評価試験合計点の総合評価。			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

元旅行の添乗員の講師が、利用者の立場に立ち実話も交えながら解説します。空港についての見聞を広げて、実務に役立ててください。

シラバス（授業計画）

科目名	アナウンス演習		科目区分	専門科目
対象	夜間部7-マーク科・エアライン科、デュアル科エアラインコース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期 : 1 単位	時間数
	後期 : 15 時間			
担当	響 丈			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	ボイストレーナー経験あり。		
授業概要	自分の声の特徴を知り、明瞭でわかりやすく話せるようになることが目的です。発声の基本を学び実際のアナウンス、案内等の実技トレーニングを積み重ねていきます。また、声だけでなく、表情や手の動き・視線の配り方などにもアナウンスには大きく関わりがあることを理解し訓練していきます。			
到達目標	明瞭で分かりやすいアナウンスが出来るようになる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称 :			
教科書 教材	なし（適宜プリントを使用）			
授業計画	<p>【アナウンスの基礎】 アナウンスの意義・必要性 アナウンスに求められることとは</p> <p>【発声練習】 腹式呼吸・腹式呼吸を使った発声 通る声と大きな声の違い 表情・目の使い方・表情筋の使い方</p> <p>【日本語の基礎・表現の基礎】 抑揚の付け方を知る 日本語の基本的なルールを理解する 声のトーン・ボリューム・スピードによる違いを理解する 笑顔と声（笑声の発生）</p> <p>【滑舌トレーニング】 滑舌よく話す練習・文章による滑舌練習</p> <p>【原稿とアナウンス】 原稿の音読（速度・声の大きさ・トーンに注意する） お客様に伝わるアナウンスを考える 緊急時や非常事態時のアナウンスについて</p>			
成績評価 方法	評価試験は実技・筆記試験の合計で 100 点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。			
成績評価 基準	<p>A : 評価試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B : 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良</p> <p>C : 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D : 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

アナウンスは誰に何を言いたいのかを明確にすることが肝要です。
基本的な考え方から発声まで、一つ一つを体で覚えていきましょう。
お客さまに安心して、快適にご利用いただくためのアナウンスを身につけましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	社会人準備講座		科目区分	専門科目
対象	夜間部テーマパーク科・エアライン科・デュアル科エアラインコース		授業形式	講義・演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	栞原 和希			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>			
授業概要	希望する職業の専門的なサービスや知識もちろん必要ですが、社会人としての知識やマナーはどの業種でも必要不可欠です。今一度社会の一員となる為に知っておかなければならない知識・技術・礼儀を学習していきます。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然な挨拶や礼儀作法が実践できる。 (法事、ビジネス時のマナー ・三大宗教の基本知識 ・株式会社、株主とは ・新入社員の心得) 			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし(授業に必要な資料はプリントし配布します)			
授業計画	<p>【新入社員マナー】 挨拶 / 休む時のマナー / 食事のマナー / 電話対応 / 報連相 身だしなみ / 議事録作成</p> <p>【株式・株主・とは】 株式 / 株式会社 / 株主 / 株式投資</p> <p>【保険・年金とは】 生命保険とは / 年金とは</p> <p>【冠婚葬祭】 招待状への返信 / ご祝儀 / 服装 / 通夜・告別式 / 香典 / 服装</p>			
成績評価 方法	授業ごとに小テストを行い、それを評価試験とする。 授業を欠席した場合は、その日の試験は0点として取り扱う。また、出席状況、授業参加意欲も評価される。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	海外ツアープランニング実務		科目区分	専門科目
対象	夜間部エアライン科、デュアル科エアラインコース		授業形式	講義・演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
担当	松川 信也			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	元添乗員。旅行コンサル会社経営。総合旅行業務取扱管理者。		
授業概要	1年次より学習した海外系科目の成果として、自分の考える「海外旅行」をプランする。海外地理の知識はもとより、空港やエアラインの知識、出入国の知識なども総動員して、納得のゆく最高のツアーを作成してほしい。旅行先は自分で決めるが、ツアー催行の条件(テーマ、費用、日程ほか)は講師より与えられ、それに従って作成する。			
到達目標	海外旅行(個人旅行)を作成し、その内容をプレゼンテーションできる。			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書教材	なし (授業内に貸し出す「地球の歩き方」(国別)を利用)			
授業計画	<p>授業(作業)はパソコン教室で行い、書面ベースでのプランの提出後、ツアーのアピールポイントをプレゼンテーションする。</p> <p>段階1.【ツアーの概略設計】 ツアー催行条件を正しく理解し、各自が最良と思える場所・行程体験内容を考えて概略を提出。講師のアドバイスを受けながら、アウトラインを作成する。</p> <p>段階2.【ツアーの詳細設計】 上記のアウトラインに基づき、パソコンを使ってネット上の旅行検索サイト、並びに学校より貸し出す書籍「地球の歩き方」を利用し、実際に行くことを想定してプランする。日程も特定し、金額や場所等もそのまま旅行に出られるレベルで設計する。</p> <p>段階3.【作成したツアープランの提出】 上記で作成したプランを、「行程表」「費用一覧表」「ツアーのアピールポイント」を紙媒体で作成し提出する。</p> <p>段階4.【作成したツアープランのプレゼンテーション】 上記で作成したプランの魅力を、1名10分でプレゼンテーションする。クラスメート、およびレビューに来た先生方の前でやる。</p>			
成績評価方法	書面での「ツアープランの提出」、および「プレゼンテーション実施」により出席率、平常点の授業評価、併せて期末試験の実施により総合評価を行う。			
成績評価基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、かつ 出席率 80%以上、かつ 平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点良以上</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、かつ 出席率 60%以上、かつ 平常点可以上</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、または 出席率 60%未満、または 平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

海外のツアーを造る体験、ある意味「夢を実現する体験」であり、諸先輩たちは楽しんで作業をしていました。ネット上で実際の旅行検索サイトを使いますので、今後のご自身の旅行実施のノウハウも取得できます。プレゼンテーションでは、ご自身の作品を楽しく大いにアピールいただきたいです。

シラバス(授業計画)

科目名	危機管理		科目区分	専門科目
対象	夜間部エアライン科、デュアル科エアラインコース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	栞原 和希			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	危機管理とは、不測の事態に対して事前に準備される、被害を最小限に食い止めるための対策のことを言います。この授業では皆さんの生活や今後の社会人人生を考え、地震・火災またお客様の負傷時の知識の他、SNS情報など様々なリスクを学び、さらにそれらのリスクを発生させない防止策や発生時にスタッフが冷静で迅速な案内ができるように演習を行います。			
到達目標	・社会のあらゆるリスク、SNS(情報)・災害(地震・火災)、人身事故による緊急搬送等の基本的な知識を持ち、自らが進んで行動できる			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>【情報伝達・社外秘の重要性】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・SNS サービスの怖さ ・社外秘の重要性 ・社会における機密の重要性 <p>【地震・火災】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地震・火災防止知識・発生時の基礎知識 ・社会における災害対策設備知識 ・災害時初期対応・実技練習 ・応急対応や緊急時の搬送について <p>【確認テスト実施】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・グループに分かれ災害対策演習 ・確認テストの実施 			
成績評価 方法	下記評価基準を基に、期末試験の実施と出席率の確認。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上 優 B: 評価試験 50 点以上、出席率 50%以上 良 C: 評価試験 30 点以上、出席率 60%以上 可 D: 評価試験 30 点未満、出席率 60%未満 不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	ソムリエ講座			科目区分	専門科目
対象	夜間部全科、デュアル科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	松平 和宏				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	ホテル業界にて料飲部門(宴会・バー)実務経験あり。			
授業概要	<p>ワインはレストランでの食事に欠かせない飲み物ですが、ワインの勉強は奥が深く、本気で勉強するには努力が必要です。</p> <p>難しいワインの知識をなるべくわかりやすく授業を行うよう心掛け、ワインに対して少しでも興味を持つこと、ワインについて少しでも知識が広がることを目標に、最低限のワインの常識や、国によるワインの違いを覚えられるようにしていきます。</p>				
到達目標	<p>ワインの産地やその違いと特徴を知る。</p> <p>基本的なワインの名前を覚える。</p> <p>ワインの抜栓方法を覚える。</p>				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【実技】</p> <p>① ワインの歴史/ブドウの構造/ブドウ品種/ワインの製造工程/ワインの種類</p> <p>② ボルドーについて/ブルゴーニュについて/シャンパーニュについて/その他のフランスのワイン</p> <p>③ イタリアワインについて/ドイツワインについて/その他ヨーロッパのワイン/新世界のワイン</p> <p>④ ワインの抜栓方法/スパークリングワインの抜栓方法/ワインのサービスの仕方/ワインと料理の相性</p>				
成績評価 方法	<p>期末に、筆記試験を行う。欠席した場合は、0点として取り扱う。</p> <p>出席状況、授業参加意欲は平常点として評価し、筆記試験の結果と合算して評価する。</p>				
成績評価 基準	<p>A：授業内試験・理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B：授業内試験・理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C：授業内試験・理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D：授業内試験・理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	企業実習		科目区分	専門科目
対象	夜間部 ホテル科・ブライダル科・エアライン科・テーマパーク科		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	後期 : 4 単位	時間数
担当	企業担当者			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	各企業現場指導者より		
授業概要	シティホテル、またはリゾートホテル、テーマパークやエアライン企業に出向き、接客をはじめとする業務を、実際の体験をとおして理解する。 精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのマナーの習得 ・実践業務を学び、知識・技術の向上 			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>【実習内容】 各企業の館内及び施設見学、接客ルールやマナーを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストランサービス(朝・昼・夜) ・宴会サービス ・ロビーサービス ・客室サービス ・輸入貨物上屋見学 ・危険物教育 ・輸出貨物上屋業務 ・国内貨物受付業務 ・DATA 入力 ・書類仕分け 			
成績評価 方法	実習報告手帳より			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】 R:実習修了時間 120 時間以上 D:実習修了時間 120 時間未満</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	企業実習			科目区分	専門科目
対象	夜間部デュアル科 全コース			授業形式	実習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：7単位 後期：7単位	時間数	前期：210時間 後期：210時間
担当	企業担当者				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	各企業現場指導者より			
授業概要	シティホテル、またはリゾートホテル、テーマパークやエアライン企業に出向き、接客をはじめとする業務を、実際の体験をとおして理解する。 精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのマナーの習得 ・実践業務を学び、知識・技術の向上 				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【実習内容】 各企業の館内及び施設見学、接客ルールやマナーを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストランサービス(朝・昼・夜) ・宴会サービス ・ロビーサービス ・客室サービス ・輸入貨物上屋見学 ・危険物教育 ・輸出貨物上屋業務 ・国内貨物受付業務 ・DATA 入力 ・書類仕分け 				
成績評価 方法	実習報告手帳より				
成績評価 基準	<p>【年間実習時間(デュアル科)】 R:実習修了時間 420 時間以上 D:実習修了時間 420 時間未満</p>				

学生へのメッセージ

夜間部
専門科目

ホテル科
デュアル科ホテルコース

シラバス(授業計画)

科目名	料理解説Ⅲ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	夜間部ホテル科・デュアル科ホテルコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期 後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	寺田 宗高				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	ホテル業界(外資系・日系)にて長年レストランサービスの実務経験あり。			
授業概要	ホテル・レストランにおける業務の中で、料理の最低限の知識は必要である。その中でも、フランス料理・中国料理・日本料理の知識・作り方など、基本的な事を習得できるようにする。 フランス料理・中国料理・日本料理の料理名や材料名を英語に訳す。				
到達目標	中国料理における、漢字の意味を理解し、どういう料理なのかができるようになる。 日本料理のコース料理を理解できるようにする。 フランス料理・中国料理・日本料理の英語訳ができるようになる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	ホテルテキスト料飲Ⅰ レストラン・宴会編(ウイネット)				
授業計画	<p>【中国料理の概要】 中国大陸を4つに分けた、四大料理を覚える 前菜に使われる材料名と料理名を漢字で理解する フカヒレ料理の種類と料理名を漢字で理解する 映像を見ながら、今までの復習</p> <p>【肉・貝・甲殻類料理について】 鶏・鴨料理の種類と料理名を漢字で理解する 材料の切り方を表す漢字を理解する 調理方法を表す漢字を理解する 豚肉・牛肉料理の種類と料理名を理解する 蝦・蟹料理の種類と料理名を理解する 映像を見ながら、今までの復習</p> <p>【玉子・豆腐・野菜・スープ・点心料理について】 玉子・豆腐料理の種類と料理名を理解する 野菜料理とスープの種類と料理名を理解する 点心の種類を理解する 映像を見ながら、今までの復習</p> <p>【日本料理の概要】 日本料理の変遷とその時の代表的な料理名を理解する 基本料理に含まれる、お吸い物・お造り・焼き物・煮物の料理名と特徴を理解する 揚げ物・蒸し物・酢の物の料理名を理解する 映像を見ながら、今までの復習</p> <p>【各料理の英語表記について】 フランス料理・中国料理・日本料理を英語に訳した場合の表記と意味を理解する</p> <p>【後期試験・総括】</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく 総括テスト有り				
成績評価 基準	A: 評価試験(理解度)80%以上、出席率85%以上、平常点優 B: 評価試験(理解度)60%以上、出席率70%以上、平常点良 C: 評価試験(理解度)30%以上、出席率60%以上、平常点可 D: 評価試験(理解度)30%未満、出席率60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	レストランサービス演習Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	夜間部ホテル科、デュアル科ホテルコース			授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	寺田 宗高				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	ホテル業界(外資系・日系)にて長年レストランサービスの実務経験有り。			
授業概要	1年次より、実施してきた基本マナーや技術・知識習得から、より実践的にレストランでのサービス技術と言葉使いの習得を目指す。 同時にHRS検定3級の実技試験に対応できるように、演習形式で実施していく。				
到達目標	レストランにおいて、お客様のお迎え～オーダーテイク～サービス～下げ～お見送り～リセットまでの一連の動作を確実にできるようにする。				
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意		名称：ホテル・レストラン・サービス技能検定3級	学科：8月	実技：11月
教科書 教材	ホテルテキスト 料飲Ⅰ レストラン・宴会編(ウイネット)				
授業計画	<p>【授業内容の目的】</p> <p>① お迎え～着席補助、メニュー提示～水のサービス、上記内容の見極め 参考資料の配布と説明 2班に分かれて、順番に交替で演習形式で繰り返し練習 注意事項(要点)が確実に実施できているかの確認 見極めをして、判定する。 オーダーテイク～シルバー交換～</p> <p>② ドリンクサービス～料理サービス、上記内容の見極め、①から②までの見極め 上記同様にて、演習形式で繰り返し練習 注意事項(要点)が確実に実施されているのか確認 見極めをして、判定する。 何度か①～②を実施して、見極め判定をする</p> <p>③ ①～②の復習、料理下げ～お見送り～リセット、上記の見極め 2班に分かれて、順番に交替で演習形式で繰り返し練習 注意事項(要点)が確実に実施できているかの確認 見極めをして、判定する。</p> <p>④ ①～③最終的な見極め 最終的に、お迎え～お見送り～リセットの一連のサービスと言葉 使いを繰り返し演習・練習し、さいごの見極めをして、判定する。</p>				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80%以上、出席率 75%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 60%以上、出席率 60%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40%以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40%未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	宿泊サービス演習Ⅲ・Ⅳ		科目区分	専門科目
対象	夜間部ホテル科、デュアル科ホテルコース		授業形式	演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	沼田 祐佳			
	実務経験：有・無	ホテルで宿泊関連業務に従事。		
授業概要	フロント オフィス業務の理解を深める。ホテルの客室タイプの種類や料金システムを学び、予約業務の重要性を理解する。更に、客室予約の種類やシステムを学ぶ事により、イールドマネージメントについての理解を深めていく。 レセプション業務では、宿泊の基礎的な数字である客室稼働率、ADR・RevPARを理解し、フロント キャッシャー業務では、室料・サービス料・消費税の計算方法を理解する。 宿泊部門の重要な数値を理解することで、各現場オペレーションのあり方を考えられる思考を育てる。			
到達目標	リザベーション業務の重要性や、イールドマネージメントを理解する。 マネージメントに必要な数値の理解と計算方法を習得する。			
検定資格	なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	ホテルテキスト宿泊Ⅰ フロント・オフィス編(ウィネット) ホテルテキスト宿泊Ⅱ フロント・サービス編(ウィネット)			
授業計画	<p>【フロント オフィスの基礎】 フロント オフィスの意義と役割、フロント オフィスの業務、客室の種類と料金システム</p> <p>【リザベーション業務】 予約業務の重要性、イールドマネージメントについて、客室予約の種類と予約システムの概要 予約受付の流れ/個人予約と団体予約、電話予約の応答マニュアル 予約のキャンセル及び変更、予約係のその他の業務</p> <p>【まとめ学習】 前期のまとめ</p> <p>【レセプション業務】 ルームアサインメントの方法と手順、ウォークイン・デポジットについて、チェックアウト業務/宿泊条件の変更 ナイト業務、デイリールームレポートの稼働率、ADR・RevPAR の計算</p> <p>【フロント キャッシャー業務】 宿泊室料・サービス料・消費税の理解 ブレイクダウン・グロス料金からネット料金を求める計算 室料の割引料金を計算/外貨両替計算</p> <p>【宿泊部門のまとめ】 各種計算問題テストと総まとめ</p>			
成績評価 方法	授業内にてテストを実施 ※業界人として相応しくない身嗜みの者は、平常点不可とする。 試験結果、平常点、出席率による総合評価とする。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 評価試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良 C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	HRS検定対策Ⅲ		科目区分	専門科目
対象	夜間部ホテル科、デュアル科ホテルコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	高須 孝一			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	ホテル業界にてレストランサービス実務経験あり。		
授業概要	料飲サービスに関する唯一の国家資格「レストランサービス技能検定」の3級取得を目指して1年次から継続して、学科試験対策としてのテキスト理解を深めていきます。			
到達目標	レストランサービス技能検定3級取得 過去の出題傾向を基本とし、2年前期は料飲部全般の知識を身に付ける。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 学科試験・・・2年次 8月実施予定 実技試験・・・2年次 11月実施(予定学科試験通過者のみ)			
教科書 教材	「西洋料理 料飲接客サービス技法」(職業訓練教材研究会)			
授業計画	<p>【予約】・予約を受けるときの確認事項 【メニュー管理】・メニューの役割と機能、売り上げ管理と分析 【一般的な救護方法】・病人が出たときの対処方法、注意事項</p> <p>【食事のサービスマナー】・サービスを行う立場から心掛けるべきマナー 【国際習慣】・プロトコルの歴史・プロトコルの5原則・席次、序列、国旗の掲揚、服装(ドレスコード)</p> <p>【食文化】・食文化史と現状の食環境・食文化と食事作法、西洋料理の変遷 【設備管理】・建築設備と消防用設備 【防災】・火災発生時の措置、避難誘導</p> <p>【苦情対応と遺失物の取り扱い】・苦情対応の基本・遺失物に対する法的な義務と権利 【食品衛生】・食品衛生の定義と目的・食中毒予防の三原則 【労働災害】・調理及び料飲接客サービスにおける具体的な労働災害 【テスト】・解答及び解説</p>			
成績評価 方法	授業内にてテストを実施 ※業界人として相応しくない身嗜みの者は、平常点を不可とします。 試験結果、出席率、平常点の総合評価とする。			
成績評価 基準	A: 評価試験 80%以上、平常点優、出席率 80%以上 B: 評価試験 60%以上、平常点良、出席率 80%以上 C: 評価試験 40%以上、平常点可、出席率 60%以上 D: 評価試験 40%未満、平常点不可、出席率 60%未満			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	ブライダルセールスⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	夜間部ブライダル科			授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	寺園 聡				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	レストランウェディングでのプロデュース経験 ブライダル業界歴 約15年			
授業概要	1年次で学んだ結婚式の知識を基に接客技術の向上を目指します 電話やメール対応・会場案内・商品説明・見積書の作成など ご成約をいただく為に必要な知識を実技形式で理解を深め 習得していきます				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新規電話対応～成約までの一連の流れを理解したうえで、場面ごとの言葉の表現や立ち振る舞い 接客術を習得する ・商品アイテム一つ一つの説明方法だけでなく単価アップの手法を身につけます 				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書教材	なし				
授業計画	<p>【1年次の授業内容の振り返り】 1年次に習得した知識を改めて振り返り 重要なポイントについて更に理解を深めます</p> <p>【商品アイテムの知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパー&ウェルカムアイテム ・引出物&引菓子 ・料理&飲物 ケーキ ・演出 ・記録&記念アイテム ・ブーケ&フラワーアイテム <p>上記の商品説明や接客技法を学びます</p> <p>【見積書・結婚費用の流れ・手配発注業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見積書について ・結婚費用の支払いタイミングについて <p>ロールプレイングを行いながら その場で見積書を完成させます</p> <p>【成約業務・打合せスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成約の手続き 規約内容の説明 ・ペーパーワークについて ・当日までの打合せスケジュールの説明 				
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A: 評価試験 80%以上・出席率 90%以上・平常点 優 B: 評価試験 50%以上・出席率 70%以上・平常点 良 C: 評価試験 30%以上・出席率 60%以上・平常点 可 D: 評価試験 30%未満・出席率 60%未満・平常点 不可				
学生へのメッセージ					

シラバス(授業計画)

科目名	バーテンダー講座Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	夜間部ホテル科、デュアル科ホテルコース		授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	高須 孝一			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	ホテル業界でのレストランサービス実務経験及びバーテンダーとして6年間の勤務経験あり。		
授業概要	年間を通して、バーテンダーとして就業した際に必要な知識（酒類やカクテルの知識だけでなく、カウンター越しの接客を踏まえた知識習得）、技術（カクテルのメイキングだけでなく、実際に従事した際に必要な技術の習得）、心得（接客に必要なバーでのマナーや、講師が実際に経験した実話などを盛り込む）などを習得させる。 最終的に、すぐにバーに配属された場合の最低限必要なすべての項目を身に付けさせ、バーテンダーという職種に興味を持ってもらう。			
到達目標	バーテンダーとして最低限の知識と技術を身に付ける。 各自のオリジナルカクテルの作成・発表。			
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>【実技】</p> <p>① バーツール（器具）の説明/カクテルの技法/ジュースの搾り方/メジャーカップの使い方/ステアの仕方</p> <p>② シェークの仕方/ビルドのカクテルの作成</p> <p>③ シェークのカクテルの作成/ステアのカクテルの作成/ブレンドのカクテルの作成</p> <p>④ デコレーションの作り方/フルーツカットについて/オリジナルカクテルの考え方/オリジナルカクテルの制作、発表</p>			
成績評価 方法	期末に、筆記と実技による評価試験を行う。欠席した場合は、0点として取り扱う。 出席状況、授業参加意欲は平常点として評価し、実技試験の結果と合算して評価する。			
成績評価 基準	<p>A：授業内試験・理解度80%以上、出席率90%以上、平常点 優</p> <p>B：授業内試験・理解度60%以上、出席率80%以上、平常点 良</p> <p>C：授業内試験・理解度40%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D：授業内試験・理解度40%未満、出席率60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	飲料解説Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	夜間部ホテル科・テーマパーク科・ブライダル科、デュアル科ホテルコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	高須 孝一			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	ホテル業界でのレストランサービス実務経験及びバーテンダーとして6年間の勤務経験あり。		
授業概要	お酒の知識を学ぶ事は、大変な学習時間のかかる事です。学ぶ内容や範囲も広く、興味だけでは続きません。ただし、ホテルやレストラン、バー、宴会場では、料理と共に飲み物も不可欠な存在です。最低でも基礎知識だけはしっかり身に付けておかななくてはなりません。名前や違いなどをしっかりと覚える事を目標に勉強していきます。			
到達目標	さまざまな料飲施設でよく使用される飲み物の名前を覚える。 お酒の種類や原料、製造方法を知る。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称:			
教科書教材	新バーテンダーズマニュアル(柴田書店)			
授業計画	<p>【実技】</p> <p>① バーテンダーとカクテルの知識/酒類の総論/酒類の分類/ソフトドリンクや副材料/コーヒーについて</p> <p>② 醸造酒とは何か/ワインの知識/ビールの知識/日本酒の知識/その他の醸造酒</p> <p>③ ホワイトスピリッツとは何か/4大スピリッツの知識/その他の蒸留酒</p> <p>④ ブラウンスピリッツとは何か/ウイスキーの知識/ブランデーの知識/リキュールとは何か</p>			
成績評価方法	期末に、筆記試験を行う。欠席した場合は、0点として取り扱う。 出席状況、授業参加意欲は平常点として評価し、筆記試験の結果と合算して評価する。			
成績評価基準	<p>A：授業内試験・理解度80%以上、出席率90%以上、平常点 優</p> <p>B：授業内試験・理解度60%以上、出席率80%以上、平常点 良</p> <p>C：授業内試験・理解度40%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D：授業内試験・理解度40%未満、出席率60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	Hotel English I・II			科目区分	専門科目
対象	夜間部ホテル科、デュアル科ホテルコース			授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	眞館 尚子				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無				
授業概要	ホテル業務で必要な基本的な英単語・英語表現を学び、グループワークやロールプレイでより実践的に使える英会話の獲得を目指します。				
到達目標	ホテルで働くうえで必要な英語表現の獲得				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	HOSPITALITY ON THE SCENE 金星堂				
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> ・お出迎えとチェックイン お出迎えするときの挨拶表現について チェックイン時に使う基本的な表現について チェックインの受付と部屋タイプの変更を受け付けるときの表現について ・ホテルでの様々なサービス ホテル館内やサービスの案内 けがや病気の対応 クレーム対応 ・道案内と観光案内 道案内と観光案内で必要な英語表現について ・レストラン業務 ブッフェスタイルの朝食の案内について ルームサービスでよく使う英語表現について その他レストランで使用する英語表現について ・旅館について 				
成績評価 方法	授業内に実施する会話テストと学期末に行う試験、出席率、授業態度を総合して評価します。				
成績評価 基準	A：授業理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：授業理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

基本の英語表現をしっかり覚え、実際に使えるようたくさんロールプレイングをしていきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	ブライダル総論			科目区分	専門科目																
対象	夜間部ホテル科 デュアル科ホテルコース			授業形式	講義																
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：15時間																
担当	寺園 聡																				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	レストランウエディングでのプロデュース経験 ブライダル業界歴 約15年																			
授業概要	<p>挙式・披露宴の流れとその意味を学び ウエディングの本質と魅力を考える授業 「結婚式」の変遷を考察し 現在のブライダル事情について学習していく また プランナー業務だけでなく 参列の際のマナーや服装についても学び 婚礼についての理解を深めていきます</p>																				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・結婚式当日までの流れを理解する ・結納の知識や「挙式・披露宴」の基礎知識を修得する ・ウエディングプランナーの業務内容を理解する 																				
検定資格	なし ・ <input checked="" type="checkbox"/> 必修 ・ 任意 名称: ブライダルコーディネーター技能検定 受験予定日: 1月																				
教科書 教材	BIA公益社団法人日本ブライダル文化振興協会発行 Bridal Coordinator Text Standard																				
授業計画	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【挙式形式の検証】 キリスト教式・神前式・仏前式・人前式 海外挙式・二次会など</p> <p>【見合いと婚約 結納】 見合いと婚約について理解する 結納について内容理解</p> <p>【ブライダル準備】 結婚までのスケジュール組み 日程・時間・会場・挙式スタイルの検討をする</p> </td> <td style="width: 50%; vertical-align: top;"> <p>【コーディネーター業務】 担当制と分担制・コーディネーターとしての心構え ブライダル商品の特徵・ホスピタリティ営業について</p> <p>【結婚式参列】 ご祝儀について 身だしなみについて 席次表について</p> </td> </tr> </table>					<p>【挙式形式の検証】 キリスト教式・神前式・仏前式・人前式 海外挙式・二次会など</p> <p>【見合いと婚約 結納】 見合いと婚約について理解する 結納について内容理解</p> <p>【ブライダル準備】 結婚までのスケジュール組み 日程・時間・会場・挙式スタイルの検討をする</p>	<p>【コーディネーター業務】 担当制と分担制・コーディネーターとしての心構え ブライダル商品の特徵・ホスピタリティ営業について</p> <p>【結婚式参列】 ご祝儀について 身だしなみについて 席次表について</p>														
<p>【挙式形式の検証】 キリスト教式・神前式・仏前式・人前式 海外挙式・二次会など</p> <p>【見合いと婚約 結納】 見合いと婚約について理解する 結納について内容理解</p> <p>【ブライダル準備】 結婚までのスケジュール組み 日程・時間・会場・挙式スタイルの検討をする</p>	<p>【コーディネーター業務】 担当制と分担制・コーディネーターとしての心構え ブライダル商品の特徵・ホスピタリティ営業について</p> <p>【結婚式参列】 ご祝儀について 身だしなみについて 席次表について</p>																				
成績評価 方法	下記評価基準に基づく 必要に応じて小テスト実施の可能性あり																				
成績評価 基準	<table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 25%;">A: 評価試験 80%以上・出席率</td> <td style="width: 25%;">90%以上・平常点</td> <td style="width: 25%;">優</td> <td style="width: 25%;"></td> </tr> <tr> <td>B: 評価試験 50%以上・出席率</td> <td>70%以上・平常点</td> <td>良</td> <td></td> </tr> <tr> <td>C: 評価試験 30%以上・出席率</td> <td>60%以上・平常点</td> <td>可</td> <td></td> </tr> <tr> <td>D: 評価試験 30%未満・出席率</td> <td>60%未満・平常点</td> <td>不可</td> <td></td> </tr> </table>					A: 評価試験 80%以上・出席率	90%以上・平常点	優		B: 評価試験 50%以上・出席率	70%以上・平常点	良		C: 評価試験 30%以上・出席率	60%以上・平常点	可		D: 評価試験 30%未満・出席率	60%未満・平常点	不可	
A: 評価試験 80%以上・出席率	90%以上・平常点	優																			
B: 評価試験 50%以上・出席率	70%以上・平常点	良																			
C: 評価試験 30%以上・出席率	60%以上・平常点	可																			
D: 評価試験 30%未満・出席率	60%未満・平常点	不可																			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	ソムリエ講座			科目区分	専門科目
対象	夜間部全科、デュアル科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	松平 和宏				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	ホテル業界にて料飲部門(宴会・バー)実務経験あり。			
授業概要	<p>ワインはレストランでの食事に欠かせない飲み物ですが、ワインの勉強は奥が深く、本気で勉強するには努力が必要です。</p> <p>難しいワインの知識をなるべくわかりやすく授業を行うよう心掛け、ワインに対して少しでも興味を持つこと、ワインについて少しでも知識が広がることを目標に、最低限のワインの常識や、国によるワインの違いを覚えられるようにしていきます。</p>				
到達目標	<p>ワインの産地やその違いと特徴を知る。</p> <p>基本的なワインの名前を覚える。</p> <p>ワインの抜栓方法を覚える。</p>				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【実技】</p> <p>① ワインの歴史/ブドウの構造/ブドウ品種/ワインの製造工程/ワインの種類</p> <p>② ボルドーについて/ブルゴーニュについて/シャンパーニュについて/その他のフランスのワイン</p> <p>③ イタリアワインについて/ドイツワインについて/その他ヨーロッパのワイン/新世界のワイン</p> <p>④ ワインの抜栓方法/スパークリングワインの抜栓方法/ワインのサービスの仕方/ワインと料理の相性</p>				
成績評価 方法	<p>期末に、筆記試験を行う。欠席した場合は、0点として取り扱う。</p> <p>出席状況、授業参加意欲は平常点として評価し、筆記試験の結果と合算して評価する。</p>				
成績評価 基準	<p>A：授業内試験・理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優</p> <p>B：授業内試験・理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良</p> <p>C：授業内試験・理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可</p> <p>D：授業内試験・理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	企業実習		科目区分	専門科目
対象	夜間部 ホテル科・ブライダル科・エアライン科・テーマパーク科		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	後期：4単位	時間数
担当	企業担当者			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	各企業現場指導者より		
授業概要	シティホテル、またはリゾートホテル、テーマパークやエアライン企業に出向き、接客をはじめとする業務を、実際の体験をとおして理解する。 精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのマナーの習得 ・実践業務を学び、知識・技術の向上 			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>【実習内容】 各企業の館内及び施設見学、接客ルールやマナーを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストランサービス(朝・昼・夜) ・宴会サービス ・ロビーサービス ・客室サービス ・輸入貨物上屋見学 ・危険物教育 ・輸出貨物上屋業務 ・国内貨物受付業務 ・DATA 入力 ・書類仕分け 			
成績評価 方法	実習報告手帳より			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】 R:実習修了時間 120 時間以上 D:実習修了時間 120 時間未満</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	企業実習			科目区分	専門科目
対象	夜間部デュアル科 全コース			授業形式	実習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：7単位 後期：7単位	時間数	前期：210時間 後期：210時間
担当	企業担当者				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	各企業現場指導者より			
授業概要	シティホテル、またはリゾートホテル、テーマパークやエアライン企業に出向き、接客をはじめとする業務を、実際の体験をとおして理解する。 精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのマナーの習得 ・実践業務を学び、知識・技術の向上 				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【実習内容】 各企業の館内及び施設見学、接客ルールやマナーを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストランサービス(朝・昼・夜) ・宴会サービス ・ロビーサービス ・客室サービス ・輸入貨物上屋見学 ・危険物教育 ・輸出貨物上屋業務 ・国内貨物受付業務 ・DATA入力 ・書類仕分け 				
成績評価 方法	実習報告手帳より				
成績評価 基準	<p>【年間実習時間(デュアル科)】 R:実習修了時間 420時間以上 D:実習修了時間 420時間未満</p>				

学生へのメッセージ

--

夜間部

専門科目

ブライダル科

シラバス(授業計画)

科目名	飲料解説Ⅰ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	夜間部ホテル科・テーマパーク科・ブライダル科、デュアル科ホテルコース		授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	高須 孝一			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	ホテル業界でのレストランサービス実務経験及びバーテンダーとして6年間の勤務経験あり。		
授業概要	お酒の知識を学ぶ事は、大変な学習時間のかかる事です。学ぶ内容や範囲も広く、興味だけでは続きません。ただし、ホテルやレストラン、バー、宴会場では、料理と共に飲み物も不可欠な存在です。最低でも基礎知識だけはしっかり身に付けておかななくてはなりません。名前や違いなどをしっかりと覚える事を目標に勉強していきます。			
到達目標	さまざまな料飲施設でよく使用される飲み物の名前を覚える。 お酒の種類や原料、製造方法を知る。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称:			
教科書教材	新バーテンダーズマニュアル(柴田書店)			
授業計画	<p>【実技】</p> <p>① バーテンダーとカクテルの知識/酒類の総論/酒類の分類/ソフトドリンクや副材料/コーヒーについて</p> <p>② 醸造酒とは何か/ワインの知識/ビールの知識/日本酒の知識/その他の醸造酒</p> <p>③ ホワイトスピリッツとは何か/4大スピリッツの知識/その他の蒸留酒</p> <p>④ ブラウンスピリッツとは何か/ウイスキーの知識/ブランデーの知識/リキュールとは何か</p>			
成績評価方法	期末に、筆記試験を行う。欠席した場合は、0点として取り扱う。 出席状況、授業参加意欲は平常点として評価し、筆記試験の結果と合算して評価する。			
成績評価基準	<p>A：授業内試験・理解度80%以上、出席率90%以上、平常点 優</p> <p>B：授業内試験・理解度60%以上、出席率80%以上、平常点 良</p> <p>C：授業内試験・理解度40%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D：授業内試験・理解度40%未満、出席率60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	ブライダルセールスⅠ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	夜間部ブライダル科			授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	寺園 聡				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	レストランウェディングでのプロデュース経験 ブライダル業界歴 約15年			
授業概要	1年次で学んだ結婚式の知識を基に接客技術の向上を目指します 電話やメール対応・会場案内・商品説明・見積書の作成など ご成約をいただく為に必要な知識を実技形式で理解を深め 習得していきます				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・新規電話対応～成約までの一連の流れを理解したうえで、場面ごとの言葉の表現や立ち振る舞い 接客術を習得する ・商品アイテム一つ一つの説明方法だけでなく単価アップの手法を身につけます 				
検定資格	<input checked="" type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書教材	なし				
授業計画	<p>【1年次の授業内容の振り返り】 1年次に習得した知識を改めて振り返り 重要なポイントについて更に理解を深めます</p> <p>【商品アイテムの知識】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパー&ウェルカムアイテム ・引出物&引菓子 ・料理&飲物 ケーキ ・演出 ・記録&記念アイテム ・ブーケ&フラワーアイテム <p>上記の商品説明や接客技法を学びます</p> <p>【見積書・結婚費用の流れ・手配発注業務】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・見積書について ・結婚費用の支払いタイミングについて <p>ロールプレイングを行いながら その場で見積書を完成させます</p> <p>【成約業務・打合せスケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成約の手続き 規約内容の説明 ・ペーパーワークについて ・当日までの打合せスケジュールの説明 				
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A: 評価試験 80%以上・出席率 90%以上・平常点 優 B: 評価試験 50%以上・出席率 70%以上・平常点 良 C: 評価試験 30%以上・出席率 60%以上・平常点 可 D: 評価試験 30%未満・出席率 60%未満・平常点 不可				
学生へのメッセージ					

シラバス(授業計画)

科目名	宿泊サービス演習			科目区分	専門科目
対象	夜間部ブライダル科			授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数	前期 : 15 時間
担当	沼田 祐佳				
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	ホテル業界にて宿泊業務実務経験あり。			
授業概要	ホテル宿泊部門の組織を理解し、ホテルの基本である客室と客室管理業務を学んでいく。実技では、ベッドメイクを基礎から学び、スピードと清潔さを重視して仕上げる事を反復して練習していく。実技と並行に、ホテル用語や客室タイプ・備品関連の名称を覚え習得する。				
到達目標	宿泊部に関する業務内容と客室・ベル関連の知識を習得。 ベッドメイクの実技を、2人1組で2分30秒以内に綺麗に仕上げる事を目指す。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	宿泊Ⅱ フロント・サービス編(ウィネット)				
授業計画	<p>【ホテルと客室関連の基礎知識】 宿泊部の組織と業務内容、客室タイプとベッドの種類、客室及びバスルームの設備・家具類</p> <p>【ベッドメイク実技】 ベッドメイクの基礎、ベッドメイクの実践練習(シーツとピロー) ベッドメイクの実践練習(ベッドスプレッドとデュベ)、ベッドメイクの実践練習(ベッドの仕上げ)</p> <p>【ベッドメイク実技試験/筆記試験】 2分30秒以内に綺麗にベッドメイクをする実技試験、客室関連の基礎知識 筆記試験、試験解説</p>				
成績評価 方法	学期末 実技テスト・筆記テスト 平常点・出席率				
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点良好 B: 授業内期末試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良好 C: 授業内期末試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点普通 D: 授業内期末試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不良				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	ブライダルファッションⅢ・Ⅳ			科目区分	専門科目
対象	夜間部ブライダル科			授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：2単位 後期：2単位	時間数	前期：30時間 後期：30時間
担当	高橋 之子				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	大手美容室、テレビ局メイク室、都内ホテル美容室での経験あり。			
授業概要	和の婚礼衣裳についての専門知識と接客方法について、衣裳を手に取り実習を取り入れながら基礎から学び、和装の知識を豊かにします。 和装、洋装と合わせて、総合的に婚礼衣裳をトータルコーディネート出来るスキルを身に付けます。 日本の伝統文化「きもの」を通過儀礼の装いや日本女性として身に付けるべく基礎知識を学びます。				
到達目標	和と洋の婚礼衣裳の知識を身に付けたスキルの高いブライダルプランナーやコスチュームコーディネーターを目指します。				
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称：認定ドレスコーディネーター 認定試験				
教科書教材	日本のドレスコーディネーター育成プログラム				
授業計画	<p>【和の婚礼衣裳について、新婦の和装】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 歴史、種類、衣裳業界の形態 * 各衣裳の名称、特徴、各部位の名称、帯、小物 * 着物の生地、文様、色 * 接客業務の基礎知識（着せ方、たたみ方）実習 <p>【新郎の和装、両親、列席者の衣裳】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 歴史、種類、各衣裳の名称、特徴、各部位の名称、帯、小物 * 着物の生地、文様、色、家紋 * 接客業務の基礎知識（着せ方、たたみ方）実習 <p>【婚礼衣裳のトータルコーディネート】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 式場、挙式スタイル、披露宴内容に合わせたコーディネートを実習 <p>【「きもの」の基本、通過儀礼の装い】</p> <ul style="list-style-type: none"> * 種類、きものTPO、帯、小物、下着、家紋 * 素材の特徴、文様、色 * たたみ方、手入れ方法、立ち居振る舞い * 儀式の起こりや、意味、装い 				
成績評価方法	下記評価基準に基づく				
成績評価基準	A：授業内期末試験（理解度）80%以上、出席率80%以上、平常点 優 B：授業内期末試験（理解度）70%以上、出席率70%以上、平常点 良 C：授業内期末試験（理解度）60%以上、出席率60%以上、平常点 可 D：授業内期末試験（理解度）60%未満、出席率60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	フラワー技能実務Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	夜間部ブライダル科		授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期	単位数	前期 : 1 単位	時間数
担当	渡邊るり子			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	ホテル館内装飾・ブライダルフローリストとして実務経験 25 年以上 フラワーショップ経営		
授業概要	お客様に適切な素材のお花でウェディングアイテムの提案や説明が出来るように、それぞれの素材に触れながら実践にて制作演習します			
到達目標	フラワー装飾・ウェディングアイテムを理解しお客様に提案とアドバイスができる			
検定資格	なし			
教科書 教材	なし・コピーで対応			
授業計画	<p>【フラワー装飾の演習】 ウェディング装飾・メイン装花・ゲストテーブル装花のアレンジ バルーンを組み入れる装飾 パーティーブッフェ装花の講義と演習</p> <p>【ウェディングの打ち合わせ】 ウェルカムスペース テーマの色彩 ウェディングブーケの花材とデザイン カタログとイメージの違いについて</p> <p>【ドレスとウェディングブーケ】 ドレスのスケッチ ブーケの色彩と形をデザインし、ウェディングブーケをアーティフィシャルフラワーで制作する ヘアードと花冠</p> <p>【ウェディングアイテムの作り方】 ウェルカムボードのデザインと制作 プリザーブドフラワーのリングピロー 席札の提案と制作</p>			
成績評価 方法	出席状況・期末試験 授業態度・参加意欲 作品期限内提出・完成度			
成績評価 基準	A: 期末試験 85 点以上 作品期限内提出・完成度 100% 出席率 90%以上、平常点 優 B: 期末試験 70 点以上 作品期限内提出・完成度 100% 出席率 80%以上、平常点 良 C: 期末試験 60 点以上 作品期限内提出・完成度 80%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 期末試験 60 点未満 作品期限内提出・完成度 60%未満、出席率 60%未満、平常点 不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	コーディネーター実務Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	夜間部ブライダル科			授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：2単位	時間数	前期：15時間 後期：30時間
担当	佐竹 裕子				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・無	専門式場にて美容師歴17年・ゲストハウスにてプランナー歴15年			
授業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・ブライダル業界の現状や課題・トレンドを理解したうえで、必要不可欠な商品アイテムの知識を深めます。 ・ウェディングプランナーとして、新郎新婦の思いをどのように形にしていけるのか、成約～当日までのスケジュールに基づいて講義と演習を織り交ぜながら打合せの進め方・手配方法について習得します。 				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・成約～当日～アフターフォローまでの一連の流れを理解し、場面ごとの言葉の表現や立ち居振る舞い、接客術を習得する ・商品の説明方法、営業力アップの方法を習得する 				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:				
教科書 教材	講師オリジナルのプリント配布				
授業計画	<p>【 業界トレンド講義 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本のウェディング業界の現状 ・海外ウェディングのトレンド・人気アイテムの紹介 <p>【 成約業務・打合せ業務 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成約の手続き、概要、規約内容 ・帳票(ペーパーワーク)について ・打合せ業務&スケジュールについて <p>【 商品アイテムの知識 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ペーパー&ウェルカムアイテム、引出物&引菓子、料理&飲物、ケーキ、演出、記録&写真&記念アイテム、ブーケ&フラワーアイテムについて <p>【 会場コーディネート・テーブルレイアウト 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーブルプランについて ・席次表作成、肩書きについて <p>【 手配発注業務・見積書・結婚費用の流れ 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手配発注業務について ・見積書について ・結婚費用、支払いについて <p>【 挙式・披露宴進行表 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・司会者との進行打合せ ・進行表作成の考え方 <p>【 当日業務～アフターフォロー 】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事前準備～当日業務について ・サプライズ対応、トラブル対処について ・列席者としてのマナー 				
成績評価 方法	前期・後期の学期末に評価試験を行います。 プレゼンテーション、評価試験、出席率、平常点(授業態度・参加意欲)を総合評価して判断します。 評価試験の欠席は、公欠以外は0点としての取扱いとなります。				
成績評価 基準	A: 評価試験 85 点以上、出席率 80%以上、平常点 優 B: 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点 良 C: 評価試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点 可 D: 評価試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点 不可				
学生へのメッセージ					

2022 年度シラバス(授業計画)

科目名	カラーコーディネートⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	夜間部ブライダル科・テーマパーク科		授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 : 1 単位 後期 : 1 単位	時間数 前期 : 15時間 後期 : 15時間
担当	田中 菜々子			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	専門学校において 10 年間色彩授業担当。カルチャー、セミナーなどで検定対策、カラー講座を開催。その他フラワー、アクセサリーデザインを自宅教室にて開催しています。		
授業概要	色彩の基礎から応用までを学習します。色の効果的な使い方、実践的な配色方法、その場にふさわしい季節感やイメージ表現などを学び実践できるようにします。カラーカードを使った配色レッスンやカラー着彩などのカラーワークを主体に楽しみながら実践力を養います。 <u>★ハサミ、のりを必ず持参して下さい。</u>			
到達目標	様々なシーンでカラーを効果的に使う手段を習得し（色彩配色演習、着彩デザインなど）、ブライダルプランナーとしてのカラーコーディネート力を養います。任意で 2023 年実施のライフケアカラー検定 3 級取得も目指せます。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: ライフケアカラー検定 3 級			
教科書 教材	色彩活用ライフケアカラー検定公式テキスト 3 級 新配色カード 199b (日本色研事業株式会社)			
授業計画	<p>【オリエンテーション】</p> <p>【色彩の活用手法とは】</p> <p>【色彩の基礎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色彩の基礎 ・ 色の三属性 ・ イメージ ・ 配色 ・ 色が人に与える効果 ・ 色の心理的效果 ・ ユニバーサルカラーデザイン <p>【色彩の応用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファッションカラーとカラー表現レッスン(カラーワーク) ・ フードカラーとカラー表現レッスン(カラーワーク) ・ インテリアカラーとカラー表現レッスン(カラーワーク) ・ ブライダル企画のカラープランニングレッスン(カラーワーク) 			
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。定期的に授業内で小テストを行う。 課題評価、授業参画度、平常点の総合評価で判断する。			
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 授業内期末試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 授業内期末試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業内期末試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

私たちは毎日色に囲まれて生活しています。色の持つ力を知って生活や仕事に活かせるようになりましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	ソムリエ講座			科目区分	専門科目
対象	夜間部全科、デュアル科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	松平 和宏				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	ホテル業界にて料飲部門(宴会・バー)実務経験あり。			
授業概要	ワインはレストランでの食事に欠かせない飲み物ですが、ワインの勉強は奥が深く、本気で勉強するには努力が必要です。 難しいワインの知識をなるべくわかりやすく授業を行うよう心掛け、ワインに対して少しでも興味を持つこと、ワインについて少しでも知識が広がることを目標に、最低限のワインの常識や、国によるワインの違いを覚えられるようにしていきます。				
到達目標	ワインの産地やその違いと特徴を知る。 基本的なワインの名前を覚える。 ワインの抜栓方法を覚える。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【実技】</p> <p>① ワインの歴史/ブドウの構造/ブドウ品種/ワインの製造工程/ワインの種類</p> <p>② ボルドーについて/ブルゴーニュについて/シャンパーニュについて/その他のフランスのワイン</p> <p>③ イタリアワインについて/ドイツワインについて/その他ヨーロッパのワイン/新世界のワイン</p> <p>④ ワインの抜栓方法/スパークリングワインの抜栓方法/ワインのサービスの仕方/ワインと料理の相性</p>				
成績評価 方法	期末に、筆記試験を行う。欠席した場合は、0点として取り扱う。 出席状況、授業参加意欲は平常点として評価し、筆記試験の結果と合算して評価する。				
成績評価 基準	A：授業内試験・理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：授業内試験・理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：授業内試験・理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：授業内試験・理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	企業実習		科目区分	専門科目
対象	夜間部 ホテル科・ブライダル科・エアライン科・テーマパーク科		授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	後期：4単位	時間数
担当	企業担当者			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	各企業現場指導者より		
授業概要	シティホテル、またはリゾートホテル、テーマパークやエアライン企業に出向き、接客をはじめとする業務を、実際の体験をとおして理解する。 精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。			
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのマナーの習得 ・実践業務を学び、知識・技術の向上 			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・必修・任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p>【実習内容】 各企業の館内及び施設見学、接客ルールやマナーを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストランサービス(朝・昼・夜) ・宴会サービス ・ロビーサービス ・客室サービス ・輸入貨物上屋見学 ・危険物教育 ・輸出貨物上屋業務 ・国内貨物受付業務 ・DATA 入力 ・書類仕分け 			
成績評価 方法	実習報告手帳より			
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】 R:実習修了時間 120 時間以上 D:実習修了時間 120 時間未満</p>			

学生へのメッセージ

--

夜間部

専門科目

テーマパーク科

シラバス(授業計画)

科目名	飲料解説Ⅰ・Ⅱ			科目区分	専門科目
対象	夜間部ホテル科・テーマパーク科・ブライダル科、デュアル科ホテルコース			授業形式	講義
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数	前期：15時間 後期：15時間
担当	高須 孝一				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有・ <input type="checkbox"/> 無	ホテル業界でのレストランサービス実務経験及びバーテンダーとして6年間の勤務経験あり。			
授業概要	お酒の知識を学ぶ事は、大変な学習時間のかかる事です。学ぶ内容や範囲も広く、興味だけでは続きません。ただし、ホテルやレストラン、バー、宴会場では、料理と共に飲み物も不可欠な存在です。最低でも基礎知識だけはしっかり身に付けておかななくてはなりません。名前や違いなどをしっかりと覚える事を目標に勉強していきます。				
到達目標	さまざまな料飲施設でよく使用される飲み物の名前を覚える。 お酒の種類や原料、製造方法を知る。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・ <input type="checkbox"/> 必修・ <input type="checkbox"/> 任意 名称:				
教科書教材	新バーテンダーズマニュアル(柴田書店)				
授業計画	<p>【実技】</p> <p>① バーテンダーとカクテルの知識/酒類の総論/酒類の分類/ソフトドリンクや副材料/コーヒーについて</p> <p>② 醸造酒とは何か/ワインの知識/ビールの知識/日本酒の知識/その他の醸造酒</p> <p>③ ホワイトスピリッツとは何か/4大スピリッツの知識/その他の蒸留酒</p> <p>④ ブラウンスピリッツとは何か/ウイスキーの知識/ブランデーの知識/リキュールとは何か</p>				
成績評価方法	期末に、筆記試験を行う。欠席した場合は、0点として取り扱う。 出席状況、授業参加意欲は平常点として評価し、筆記試験の結果と合算して評価する。				
成績評価基準	<p>A：授業内試験・理解度80%以上、出席率90%以上、平常点 優</p> <p>B：授業内試験・理解度60%以上、出席率80%以上、平常点 良</p> <p>C：授業内試験・理解度40%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D：授業内試験・理解度40%未満、出席率60%未満、平常点 不可</p>				

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	テーマパークイングリッシュ I・II		科目区分	専門科目
対象	夜間部テーマパーク科		授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期：1単位 後期：1単位	時間数 前期：15時間 後期：15時間
担当	眞館 尚子			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	テーマパークで働く上で必要な基本的な英単語・英語表現を学びます。さらにグループワークやロールプレイを中心に授業を行い、様々な場面で使える英語の取得を目指します。			
到達目標	テーマパークで働くうえで必要な英語表現の獲得			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	オリジナルテキスト			
授業計画	<p>【お迎えとチケット売り場】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お迎え時に使う英語表現 ・チケット売り場で必要な英語表現 ・ショーやアトラクションの休演・休止の案内 <p>【園内での案内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストランやアトラクションの場所を案内する ・ファストパスやプライオリティシーティングの案内 ・待ち時間や注意事項の案内に必要な英語表現 <p>【ショー開催の案内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ショーの場所と開始時間の案内 ・ショーの休演の案内 ・ショーの開演中に必要な英語表現 ・ショー開演中の歩行者に対する案内 <p>【レストラン】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・先に料金を支払うレストランでの英語表現 ・フードコートでよく使われる英語表現 ・オーダーが必要なレストランでの英語表現 ・会計時に必要な英語表現 <p>【周辺施設と交通案内】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通案内するときに必要な英語表現 ・周辺施設を案内するときに必要な英語表現 <p>【お見送りとお問い合わせ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お帰りの際に使う英語表現 ・電話でのお問い合わせ(忘れ物・落とし物など)に対応するための英語表現 			
成績評価 方法	授業内に数回行うロールプレイ方式の会話テストと学期末試験、出席率、授業態度を総合して評価します。			
成績評価 基準	<p>A: 授業理解度 80%以上、出席率 80%以上、平常点: 優</p> <p>B: 授業理解度 60%以上、出席率 70%以上、平常点: 良</p> <p>C: 授業理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点: 可</p> <p>D: 授業理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点: 不可</p>			

学生へのメッセージ

楽しく笑顔でたくさんロールプレイをして、実際に使える英語の取得を目指しましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	バルーンアートⅡ		科目区分	専門科目
対象	夜間部テーマパーク科		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数
担当	西田 眞子			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	バルーンの家を運営。各種イベントにてバルーン指導の実務経験あり。		
授業概要	マジックバルーンの基本的な作品の制作を行い、お客さまにバルーンを楽しませながら作り、渡すスキルを学ぶ。様々なシチュエーションでゲストとのコミュニケーションツールとして利用できるようにする。			
到達目標	ツイストバルーン1本で作れるものから始め、複数本組み合わせて出来上がる作品を作る。ゲストに対応してのバルーン作りと楽しませるスキルを学び、実践する。			
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	マジックバルーン DVD キット(宝興産)			
授業計画	<p>【単独作品を制作】 マジックバルーンの簡単なフィギア等を学ぶ。簡単なフィギア等のレパートリーを増やす。</p> <p>【複合作品の制作】 マジックバルーン数本使ったフィギア等のレパートリーを増やす。 編みこみの基本的なやり方を学ぶ。(カゴ、帽子など) ディズニーキャラクターバルーン制作</p>			
成績評価 方法	授業内で実技試験を数回行い出席率、授業態度を総合して評価します。			
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、出席率 80%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	パークオペレーションⅡ			科目区分	専門科目
対象	夜間部テーマパーク科			授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：1単位	時間数	前期：15時間
担当	長谷川 慶太				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	テーマパーク業界にてアトラクション時間帯責任者として約7年間実務経験あり。			
授業概要	テーマパークでのオペレーション方法や、ゲスト対応の方法を学びます。 また、提携先企業との授業で様々な年代・働き方を学ぶ。				
到達目標	・ゲストの前に出た際にその場の雰囲気を壊すことなく しっかりとした対応やキャスト・クルー・スタッフとして対応がとれるようになる。				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・必修・任意 名称:				
教科書 教材	参考資料配布				
授業計画	<p>【業界研究】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマパーク業界の基本知識、就業体系、テーマ研究・顧客満足施策をテーマに講義 <p>【ケーススタディー】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークでの賛辞・クレームを中心にグループ討議を行い、無数にある正解の中からグループでの答えを導き出す。 <p>【実技演習】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・テーマパークスタッフにおける実技(アトラクションスピール、パフォーマンス演習等)・顧客対応(クレーム対応、イレギュラー対応等)の演習を行う。 <p>【ゲストサービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゲストの思いを汲み取り行動できるようにする 				
成績評価 方法	出席状況、小テストによる理解度判断。提出物、授業態度、参加意欲も評価。				
成績評価 基準	A: 授業内期末試験(理解度)80%以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 授業内期末試験(理解度)50%以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 授業内期末試験(理解度)30%以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業内期末試験(理解度)30%未満、出席率 60%未満、平常点不可				

学生へのメッセージ

好きという事と、なり切って働くという事は別物になります。
必要な知識や行動を身につけられるよう学んでいきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	ダンス演習Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	夜間部テーマパーク科		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：2単位	時間数
担当	後藤 大			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	テーマパーク業界にてテーマパークスタッフ及びスタッフ教育者として実務経験あり。		
授業概要	テーマパークではキャストの接客もショーの一部。接客によるエンターテインメントの重要性、接客での動作における身のこなしをダンスを通し習得する。テーマパーク、児童施設などでのレクリエーションダンスの指導法の習得。ストレッチ運動、リズム運動、ダンス基礎の習得。			
到達目標	テーマパークでの接客技術の習得。 レクリエーションダンス指導の習得、発表。 ダンス基礎、技術の習得、発表。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	なし			
授業計画	<p><u>テーマパークダンスの研究</u> ・テーマパークではどのようなショー(ダンス)が行われているのか、テーマパークのショー(ダンス)と接客の共通点を探し、表現力を付けながら研究 ・ダンス研究による確認試験の実施</p> <p><u>ダンス基礎、ダンスを踊る為の身体作り</u> ・ウォームアップ ・ストレッチ ・リズムの取り方 ・振付</p> <p><u>ダンス振付</u> ・テーマパークの曲に合わせて振付を踊る ・振付完成後発表</p> <p><u>レクリエーションダンス(ゲスト参加型ダンス)指導法、ダンス発表会</u> ・レクリエーションダンス(ゲスト参加型ダンス)指導実施 ・レクリエーションダンス創作 ・ダンス振付、レクリエーションダンスを含めたショーの発表 ・ダンスの演習、表現試験の実施、ダンス研究による確認試験の実施</p>			
成績評価 方法	筆記テスト及び実技テストの平均点にて成績評価とする。			
成績評価 基準	A: 授業内期末試験(理解度)70%以上、出席率90%以上、平常点優 B: 授業内期末試験(理解度)50%以上、出席率70%以上、平常点良 C: 授業内期末試験(理解度)30%以上、出席率60%以上、平常点可 D: 授業内期末試験(理解度)30%未満、出席率60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

テーマパーク業界では『楽しい』だけでなくお客さまの『安全』や『非日常』を楽しんで頂くために必要な技術や知識を学んでいきます。今までと違った視野や視点でより業界のことを深く学んでいきましょう。

2022 年度シラバス(授業計画)

科目名	カラーコーディネートⅠ・Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	夜間部ブライダル科・テーマパーク科		授業形式	講義・演習
実施期	2年 前期・後期	単位数	前期 :1 単位 後期 :1 単位	時間数 前期 :15時間 後期 :15時間
担当	田中 菜々子			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	専門学校において 10 年間色彩授業担当。カルチャー、セミナーなどで検定対策、カラー講座を開催。その他フラワー、アクセサリーデザインを自宅教室にて開催しています。		
授業概要	色彩の基礎から応用までを学習します。色の効果的な使い方、実践的な配色方法、その場にふさわしい季節感やイメージ表現などを学び実践できるようにします。カラーカードを使った配色レッスンやカラー着彩などのカラーワークを主体に楽しみながら実践力を養います。 <u>★ハサミ、のりを必ず持参して下さい。</u>			
到達目標	様々なシーンでカラーを効果的に使う手段を習得し（色彩配色演習、着彩デザインなど）、ブライダルプランナーとしてのカラーコーディネート力を養います。任意で 2023 年実施のライフケアカラー検定 3 級取得も目指せます。			
検定資格	なし ・ 必修 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 任意 名称: ライフケアカラー検定3級			
教科書 教材	色彩活用ライフケアカラー検定公式テキスト 3 級 新配色カード 199b (日本色研事業株式会社)			
授業計画	<p>【オリエンテーション】</p> <p>【色彩の活用手法とは】</p> <p>【色彩の基礎】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 色彩の基礎 ・ 色の三属性 ・ イメージ ・ 配色 ・ 色が人に与える効果 ・ 色の心理的效果 ・ ユニバーサルカラーデザイン <p>【色彩の応用】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ファッションカラーとカラー表現レッスン(カラーワーク) ・ フードカラーとカラー表現レッスン(カラーワーク) ・ インテリアカラーとカラー表現レッスン(カラーワーク) ・ ブライダル企画のカラープランニングレッスン(カラーワーク) 			
成績評価 方法	学期末には評価試験を行う。定期的に授業内で小テストを行う。 課題評価、授業参画度、平常点の総合評価で判断する。			
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優 B: 授業内期末試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良 C: 授業内期末試験 50 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業内期末試験 50 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

私たちは毎日色に囲まれて生活しています。色の持つ力を知って生活や仕事に活かせるようになりましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	エンターテイメントメイク		科目区分	専門科目
対象	夜間部テーマパーク科		授業形式	演習
実施期	2年 前期	単位数	前期：2単位	時間数
担当	塚田 たみ子			
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ <input type="checkbox"/> 無	芸能(TV やステージ等)・出版業界にて出演者やアーティストにメイク業務実績あり。各種学校の講師活動を20数年間行っている。		
授業概要	社会人の身だしなみとして、好感度をアップするメイクアップの技術を学びます。 エンターテイナーとしてのパフォーマンスに欠かせない様々なメイクアップを体験し、目的やシーンに応じて活用できるよう、実習を通して学びます。			
到達目標	様々な種類のボディーメイクの技術を学び、イベント時などに提案や応用ができる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:			
教科書 教材	メイク道具一式 (AQ8 カラーパレット、ペイント用筆)			
授業計画	<p>【リクルートメイクアップ】 自分自身の良さを生かし、好感度を上げる身だしなみとしてのメイクアップ技術を学ぶ</p> <p>【フェイス&ボディーペイント】 筆の使い方 基本ラインの描き方、 ワンポイントアート等の描き方を学ぶ</p> <p>【ボディージュエリー】 材料や道具の扱い方を知り、各方面で人気の高い ボディージュエリーを美しく描く技術を学ぶ</p> <p>【ヘナ・タトゥー】 ヘナ・タトゥーの意味、作り方、扱い方などを知り、 一時的なタトゥーとして、美しい模様を描く技術を学ぶ</p> <p>【実技テスト実施】 フェイス&ボディーペイント、ボディージュエリー、ヘナ・タトゥーの実技テストの実施</p>			
成績評価 方法	授業内で分野ごとに実技テストを行い、学期末には評価テストを行う。 全ての実技テスト及び評価テストで総合的に判断する。出席状況、授業参加意欲も評価される。			
成績評価 基準	A: 授業内期末試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優 B: 授業内期末試験 75 点以上、出席率 75%以上、平常点良 C: 授業内期末試験 60 点以上、出席率 60%以上、平常点可 D: 授業内期末試験 60 点未満、出席率 60%未満、平常点不可			

学生へのメッセージ

--

シラバス(授業計画)

科目名	English Communication		科目区分	専門科目
対象	夜間部テーマパーク科		授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数
担当	英語担当講師			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/> 無			
授業概要	Students will improve their English communication skills with a variety of conversation, speaking and activity-based classes with a native English teacher.			
到達目標	Students will become used to interacting with a native English speaker, and learn a variety of English skills that they will be able to use in future at work and when travelling and studying abroad.			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし・必修・任意 名称:			
教科書 教材	Stretch Starter Student Book (Oxford)			
授業計画	<ul style="list-style-type: none"> - Meeting people - Countries & nationalities - Family - Describing people 			
成績評価 方法	下記評価基準に基づく			
成績評価 基準	<p>A：評価試験（理解度）80%以上、出席率80%以上、平常点 優</p> <p>B：評価試験（理解度）60%以上、出席率70%以上、平常点 良</p> <p>C：評価試験（理解度）30%以上、出席率60%以上、平常点 可</p> <p>D：評価試験（理解度）30%未満、出席率60%未満、平常点 不可</p>			

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	レクリエーション演習Ⅱ		科目区分	専門科目
対象	夜間部テーマパーク科		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：2単位	時間数
担当	高橋 紀子 / 澤内 隆 / 土井 彰			
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>			
授業概要	<p>ちょっとした時間に、キャストとの距離を縮めることができるスキルを体得出来たら楽しいと思いませんか？「レクリエーション=生活を豊かにすること」レクリエーション活動=生活を豊かにするためのアクティビティをさします。アクティビティ指導・支援のスキルを体得することで、キャストに感動を分かち合うこと・提供することの必要性・重要性を知ること、レクリエーション活動(アクティビティ)支援内容を組み立てる楽しさを知ることできます。レクリエーションインストラクター、レクリエーションコーディネーター、福祉レクリエーションインストラクター スポーツレクリエーション指導員など有資格者が 観光 テーマパーク等で活躍しています。楽しさ、心地よさを活かし、心の元気を考えるための理論と実践を学ぶ授業です。</p>			
到達目標	<p>「人前で話す、演じること」が緊張感なく堂々とできるようにする。 レクリエーション活動(ゲーム指導・支援)の発表が、一人で行えるようになる。</p>			
検定資格	なし・必修・ <input checked="" type="checkbox"/> 名称: レクリエーションサポーター 介護レク編			
教科書教材	グループレクリエーション・サポーター研修(公益財団法人日本レクリエーション協会) 随時 レジューメを配布			
授業計画	<p>【レクリエーションとレクリエーション活動について知る】 レクリエーション活動の体験を通して、レクリエーションとレクリエーション活動の違いを理解し、様々な対象にあわせたレクリエーション活動について体験する。 (乳幼児 学童期 青年期 壮年期 高齢期など)</p> <p>【レクリエーション支援の理論】 楽しさの先にあるレクリエーションを考えるためにさまざまな理論を学ぶ。乳幼児・学童期・青年期・壮年期・高齢期などにおける各段階の心理や特性、対応について学び、集団づくりや主体性を育む支援を考える。</p> <p>【レクリエーション支援の方法】 アイスブレーキングやさまざまなレクリエーション活動を体験し、対象者に合わせたレクリエーション支援ができるような様々な技術を習得する。模擬実施などを行い、支援者として立ち振る舞うことができるようにする。</p> <p>【レクリエーション支援演習】 様々なレクリエーション活動支援における、事業計画、安全対策 リスクマネジメントなどを学ぶ。 支援実習 実地研修をおこなう。</p>			
成績評価方法	評価試験、出席率、提出物、平常点			
成績評価基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、提出物、平常点優 B: 評価試験 50 点以上、出席率 70%以上、提出物、平常点良 C: 評価試験 30 点以上、出席率 60%以上、提出物、平常点可 D: 評価試験 30 点未満、出席率 60%未満、提出物、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

レクリエーションを考えることは、子どもから高齢者、障がい者、など分け隔てなく、対象者に合わせて、「生活の質」、「生活を豊にすること」を考えることです。そのためのレクリエーション活動やさまざまな理論を身に付けていきましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	ソムリエ講座			科目区分	専門科目
対象	夜間部全科、デュアル科全コース			授業形式	講義
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	松平 和宏				
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・ 無	ホテル業界にて料飲部門(宴会・バー)実務経験あり。			
授業概要	ワインはレストランでの食事に欠かせない飲み物ですが、ワインの勉強は奥が深く、本気で勉強するには努力が必要です。 難しいワインの知識をなるべくわかりやすく授業を行うよう心掛け、ワインに対して少しでも興味を持つこと、ワインについて少しでも知識が広がることを目標に、最低限のワインの常識や、国によるワインの違いを覚えられるようにしていきます。				
到達目標	ワインの産地やその違いと特徴を知る。 基本的なワインの名前を覚える。 ワインの抜栓方法を覚える。				
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし				
授業計画	<p>【実技】</p> <p>① ワインの歴史/ブドウの構造/ブドウ品種/ワインの製造工程/ワインの種類</p> <p>② ボルドーについて/ブルゴーニュについて/シャンパーニュについて/その他のフランスのワイン</p> <p>③ イタリアワインについて/ドイツワインについて/その他ヨーロッパのワイン/新世界のワイン</p> <p>④ ワインの抜栓方法/スパークリングワインの抜栓方法/ワインのサービスの仕方/ワインと料理の相性</p>				
成績評価 方法	期末に、筆記試験を行う。欠席した場合は、0点として取り扱う。 出席状況、授業参加意欲は平常点として評価し、筆記試験の結果と合算して評価する。				
成績評価 基準	A：授業内試験・理解度 80%以上、出席率 90%以上、平常点 優 B：授業内試験・理解度 60%以上、出席率 80%以上、平常点 良 C：授業内試験・理解度 40%以上、出席率 60%以上、平常点 可 D：授業内試験・理解度 40%未満、出席率 60%未満、平常点 不可				

学生へのメッセージ

--

シラバス（授業計画）

科目名	アナウンス演習		科目区分	専門科目
対象	夜間部ターミナル科・エアライン科、デュアル科エアラインコース		授業形式	演習
実施期	2年 後期	単位数	後期 : 1 単位	時間数
担当	響 丈			
	実務経験 : <input checked="" type="checkbox"/> 有 ・ 無	ボイストレーナー経験あり。		
授業概要	自分の声の特徴を知り、明瞭でわかりやすく話せるようになることが目的です。発声の基本を学び実際のアナウンス、案内等の実技トレーニングを積み重ねていきます。また、声だけでなく、表情や手の動き・視線の配り方などにもアナウンスには大きく関わりがあることを理解し訓練していきます。			
到達目標	明瞭で分かりやすいアナウンスが出来るようになる。			
検定資格	<input type="checkbox"/> なし ・ 必修 ・ 任意 名称 :			
教科書教材	なし（適宜プリントを使用）			
授業計画	<p>【アナウンスの基礎】 アナウンスの意義・必要性 アナウンスに求められることとは</p> <p>【発声練習】 腹式呼吸・腹式呼吸を使った発声 通る声と大きな声の違い 表情・目の使い方・表情筋の使い方</p> <p>【日本語の基礎・表現の基礎】 抑揚の付け方を知る 日本語の基本的なルールを理解する 声のトーン・ボリューム・スピードによる違いを理解する 笑顔と声（笑声の発生）</p> <p>【滑舌トレーニング】 滑舌よく話す練習・文章による滑舌練習</p> <p>【原稿とアナウンス】 原稿の音読（速度・声の大きさ・トーンに注意する） お客様に伝わるアナウンスを考える 緊急時や非常事態時のアナウンスについて</p>			
成績評価方法	評価試験は実技・筆記試験の合計で 100 点とし、授業参加意欲を平常点として評価する。			
成績評価基準	<p>A : 評価試験 90 点以上、出席率 90%以上、平常点優</p> <p>B : 評価試験 70 点以上、出席率 70%以上、平常点良</p> <p>C : 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D : 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>			

学生へのメッセージ

アナウンスは誰に何を言いたいのかを明確にすることが肝要です。
基本的な考え方から発声まで、一つ一つを体で覚えていきましょう。
お客さまに安心して、快適にご利用いただくためのアナウンスを身につけましょう。

シラバス(授業計画)

科目名	社会人準備講座			科目区分	専門科目
対象	夜間部テーマパーク科・エアライン科・デュアル科エアラインコース			授業形式	講義・演習
実施期	2年 後期	単位数	後期：1単位	時間数	後期：15時間
担当	栞原 和希				
	実務経験：有・ <input type="checkbox"/>				
授業概要	希望する職業の専門的なサービスや知識もちろん必要ですが、社会人としての知識やマナーはどの業種でも必要不可欠です。今一度社会の一員となる為に知っておかなければならない知識・技術・礼儀を学習していきます。				
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然な挨拶や礼儀作法が実践できる。 (法事、ビジネス時のマナー ・三大宗教の基本知識 ・株式会社、株主とは ・新入社員の心得) 				
検定資格	<input type="checkbox"/> ・ 必修 ・ 任意 名称:				
教科書 教材	なし(授業に必要な資料はプリントし配布します)				
授業計画	<p>【新入社員マナー】 挨拶 / 休む時のマナー / 食事のマナー / 電話対応 / 報連相 身だしなみ / 議事録作成</p> <p>【株式・株主・とは】 株式 / 株式会社 / 株主 / 株式投資</p> <p>【保険・年金とは】 生命保険とは / 年金とは</p> <p>【冠婚葬祭】 招待状への返信 / ご祝儀 / 服装 / 通夜・告別式 / 香典 / 服装</p>				
成績評価 方法	授業ごとに小テストを行い、それを評価試験とする。 授業を欠席した場合は、その日の試験は0点として取り扱う。また、出席状況、授業参加意欲も評価される。				
成績評価 基準	<p>A: 評価試験 80 点以上、出席率 80%以上、平常点優</p> <p>B: 評価試験 60 点以上、出席率 70%以上、平常点良</p> <p>C: 評価試験 40 点以上、出席率 60%以上、平常点可</p> <p>D: 評価試験 40 点未満、出席率 60%未満、平常点不可</p>				

学生へのメッセージ

シラバス(授業計画)

科目名	企業実習	科目区分	専門科目
対象	夜間部 ホテル科・ブライダル科・エアライン科・テーマパーク科	授業形式	実習
実施期	2年 後期	単位数	後期：4単位
担当	企業担当者		
	実務経験： <input checked="" type="checkbox"/> ・無	各企業現場指導者より	
授業概要	シティホテル、またはリゾートホテル、テーマパークやエアライン企業に出向き、接客をはじめとする業務を、実際の体験をとおして理解する。 精神的な成長かつ技術的な成長を成し遂げて、社会に出る為の準備を目的とする。		
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・社会人としてのマナーの習得 ・実践業務を学び、知識・技術の向上 		
検定資格	<input type="checkbox"/> ・必修・任意 名称:		
教科書 教材	なし		
授業計画	<p>【実習内容】 各企業の館内及び施設見学、接客ルールやマナーを学ぶ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レストランサービス(朝・昼・夜) ・宴会サービス ・ロビーサービス ・客室サービス ・輸入貨物上屋見学 ・危険物教育 ・輸出貨物上屋業務 ・国内貨物受付業務 ・DATA 入力 ・書類仕分け 		
成績評価 方法	実習報告手帳より		
成績評価 基準	<p>【年間実習時間】 R:実習修了時間 120 時間以上 D:実習修了時間 120 時間未満</p>		

学生へのメッセージ